新 郷 分 署 改 築 工 事

設　計　図

川口市建設部建築課

有限会社サトウ設計

決裁	次長兼課長	課長補佐	主査	主任	担当者		決裁	川口市 -8.8.13 建築課

図　面　リ　ス　ト

意　匠・構　造

番　号	図　面　名　称	縮　尺	番　号	図　面　名　称	縮　尺	番　号	図　面　名　称	縮　尺	番　号	図　面　名　称	縮　尺	番　号	図　面　名　称	縮　尺
A－000	図面リスト	Non scale	A－038	展開図（6）	1/50	A－075	サイン詳細図	図示	S－01	構造設計特記仕様　その１	Non scale	S－39	擁壁配筋図	1/40
A－001	特記仕様書（1）	Non scale	A－039	展開図（7）	1/50	A－076	駐輪場・油庫詳細図	1/30	S－02	構造設計特記仕様　その２	Non scale			
A－002	特記仕様書（2）	Non scale	A－040	展開図（8）	1/50	A－077	外構計画図	1/100	S－03	鉄筋コンクリート配筋標準図（1）	Non scale			
A－003	特記仕様書（3）	Non scale	A－041	展開図（9）	1/50	A－078	緑化計画図	1/100	S－04	鉄筋コンクリート配筋標準図（2）	Non scale			
A－004	特記仕様書（4）	Non scale	A－042	展開図（10）	1/50	A－079	縁石切下げ計画図	1/20、1/100	S－05	鉄筋コンクリート配筋標準図（3）	Non scale			
A－005	特記仕様書（5）	Non scale	A－043	展開図（11）	1/50	A－080	外構詳細図（1）	図示	S－06	鉄筋コンクリート配筋標準図（4）	Non scale			
A－006	特記仕様書（6）	Non scale	A－044	天井伏図（1）	1/100	A－081	外構詳細図（2）	図示	S－07	鉄筋コンクリート配筋標準図（5）	Non scale			
A－007	工事区分表	Non scale	A－045	天井伏図（2）	1/100	A－082	オイルタンク詳細図	1/20	S－08	鉄筋コンクリート配筋標準図（6）	Non scale			
A－008	計画概要・案内図・配置図	1/100	A－046	建具キープラン図（1）	1/100	A－083	防火水槽詳細図	1/30	S－09	鉄筋コンクリート配筋標準図（7）	Non scale			
A－009	敷地求積図・平均地盤算定図	1/150、1/200	A－047	建具キープラン図（2）	1/100	A－084	山留計画図【参考図】	1/100	S－10	鉄筋コンクリート配筋標準図（8）	Non scale			
A－010	面積表	1/200	A－048	建具キープラン図（3）	1/100	A－085	仮設計画図【参考図】	1/100	S－11	鉄筋コンクリート配筋標準図（9）	Non scale			
A－011	仕上表（1）	Non scale	A－049	建具表（1）	1/50	A－086	現　況　図	1/100	S－12	鉄筋コンクリート配筋標準図（10）	Non scale			
A－012	仕上表（2）	Non scale	A－050	建具表（2）	1/50				S－13	鉄筋コンクリート配筋標準図（11）	Non scale			
A－013	各階平面図（1）	1/100	A－051	建具表（3）	1/50	A－100	昇降機詳細図（1）【参考図】	Non scale	S－14	躯体内配管標準仕様書	Non scale			
A－014	各階平面図（2）	1/100	A－052	建具表（4）	1/50	A－101	昇降機詳細図（2）【参考図】	1/20	S－15	鉄骨構造標準図（1）	Non scale			
A－015	各階平面図（3）	1/100	A－053	建具表（5）	1/50	A－102	昇降機詳細図（3）【参考図】	1/20,1/40	S－16	鉄骨構造標準図（2）	Non scale			
A－016	立面図（1）	1/100	A－054	建具表（6）	1/50				S－17	ボーリング柱状図	Non scale			
A－017	立面図（2）	1/100	A－055	建具表（7）	1/50	A－200	法規チェック図（1）	1/100	S－18	杭伏図・杭リスト	1/50			
A－018	断面図	1/100	A－056	オーバースライダー詳細図（1）	図示	A－201	法規チェック図（2）	1/100	S－19	ピット・１階梁伏図	1/50			
A－019	矩計図（1）	1/50	A－057	オーバースライダー詳細図（2）	図示	A－202	法規チェック図（3）	1/150	S－20	中２階鉄骨梁伏図	1/50			
A－020	矩計図（2）	1/50	A－058	厨房機器図・流し配置図	1/30	A－203	法規チェック図（4）	Non scale	S－21	２・３階梁伏図	1/50			
A－021	矩計図（3）	1/50	A－059	家具キープラン図	1/100	A－204	時刻日影図	1/150	S－22	４・Ｒ階梁伏図	1/50			
A－022	階段Ａ詳細図	1/50	A－060	家具詳細図（1）	1/2、1/20	A－205	等時間日影図	1/150	S－23	軸組図（1）	1/50			
A－023	階段Ｂ詳細図	1/50	A－061	家具詳細図（2）	1/20				S－24	軸組図（2）	1/50			
A－024	鉄骨階段詳細図	1/50	A－062	家具詳細図（3）	1/20				S－25	基礎リスト	1/30			
A－025	屋外階段（1）詳細図	1/50	A－063	家具詳細図（4）	1/20				S－26	基礎梁リスト（1）	1/40			
A－026	屋外階段（2）詳細図	1/50	A－064	家具詳細図（5）	1/20				S－27	基礎小梁リスト	1/40			
A－027	訓練塔詳細図	1/50	A－065	家具詳細図（6）	1/20				S－28	柱リスト	1/30			
A－028	１階平面詳細図	1/50	A－066	家具詳細図（7）	1/20				S－29	大梁リスト（1）	1/30			
A－029	Ｍ２階平面詳細図	1/50	A－067	家具詳細図（8）	1/20				S－30	大梁リスト（2）	1/30			
A－030	２階平面詳細図	1/50	A－068	訓練屋根詳細図	1/10,1/30				S－31	床版・壁・小梁リスト	1/30			
A－031	３階平面詳細図	1/50	A－069	雑詳細図（1）	図示				S－32	Ｄ通り架構配筋詳細図	1/40			
A－032	４階平面詳細図	1/50	A－070	雑詳細図（2）	図示				S－33	防音壁配筋詳細図	1/30			
A－033	展開図（1）	1/50	A－071-1	雑詳細図（3）	図示				S－34	Ａ・Ｂ階段配筋図	1/30			
A－034	展開図（2）	1/50	A－071-2	雑詳細図（4）	図示				S－35	屋外階段（1），（2）配筋図	1/40			
A－035	展開図（3）	1/50	A－072	ホースリフター詳細図	図示				S－36	雑配筋詳細図	1/30			
A－036	展開図（4）	1/50	A－073	耐震天井標準図【参考図】	図示				S－37	訓練塔伏図、軸組図、部材リスト	1/30,1/100			
A－037	展開図（5）	1/50	A－074	サインキープラン図	1/100				S－38	Ｍ２階鉄骨部材リスト	1/30			

決裁欄

川口市 －8.8.13 建築課

TITLE 新郷分署改築工事

P. DAYS　PLAN　DRAW　SIGN

図面リスト

SCALE A3:Non Scale A1:Non Scale

NO. A-000

TOTAL NO

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智

工事名　新郷分署改築工事

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　住居表示：埼玉県川口市大字東本郷1283-3
地名地番：埼玉県川口市大字東本郷字小原1283-3、-4、-18
用途地域：第一種住居地域

2．敷地面積　1036.83㎡

3．工事種目　消防署　鉄筋コンクリート造　地上５階建て
建築面積：539.40㎡
延べ面積：1441.60㎡

4．工　　期　契約書による

5．工事範囲

※「3．工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3．工事種目」のうち＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2　仮設工事	※工事範囲全て
3　土工事	
4　地業工事	
5　鉄筋工事	
6　コンクリート工事	
7　鉄骨工事	
8　コンクリートブロック・ＡＬＣﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	
9　防水工事	
１０　石　工　事	
１１　タイル工事	
１２　木工事	
１３　屋根及びとい工事	
１４　金属工事	
１５　左官工事	
１６　建具工事	
１７　カーテンウォール工事	
１８　塗装工事	
１９　内装工事	
２０　ユニット及びその他の工事	
２１　排水工事	
２２　舗装工事	
２３　植栽及び屋上緑化工事	
２４　ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定	
２５　家屋調査	

Ⅱ　建築工事仕様

1　共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて[公共建築木造工事標準仕様」(令和7年)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」(令和7年版）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」(令和7年版）により、それに記載なき仕様、工法は製造所の製品仕様により監督員の承諾を受けること。
(2) 「資源の有効な利用促進に関する法律」及び「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づき施工すること。
(3) 発生材の処分にあたり、産業廃棄物（舗装版切断時に発生する油分を含む濁水は汚泥に該当する）の処理委託契約を含む場合は、委託契約書の写し、委託先の業務許可証（収集運搬業務許可証、処分業許可証等）の写しを提出すること。
また、産廃廃棄物管理票（マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを監督員の確認を受けるとともに、工事検査時にマニフェスト原本を提示すること。
(4) 建設副産物情報交換システム（コプリスプラス）の登録を行い、着工前、完了後に監督員の了承を得ること。（請負金額100万円以上）
(5) 安全衛生管理には、充分注意すること。
(6) 高所作業の際は、厚生労働省の「墜落防止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき実施すること。
(7) 低騒音・低振動・低排出ガス型機材を優先に使用すること。
(8) 川口市建設工事請負契約基準約款第２８条の趣旨を踏まえた損害賠償責任保険に加入し、その証券等の写しを提出すること。
また、同約款第５３条における火災保険等に加入し、その証券等の写しを提出すること。
(9) 受注者は法定外の労災保険に付し、その証券等の写しを提出すること。
(10) 工事の施工にあたり建物や設備等に破損が生じた場合、すみやかに原形に復旧すること。
(11) 工事の施工にあたり、必要な官公庁への申請手続き一切は、請負業者の責任において行うものとする。
(12) 工事の施工にあたり、施設運営に支障がないよう施設担当者及び監督員と協議の上、適切に施工すること。
(13) 工事に関しての苦情やトラブルについては、原則、請負業者の責任において適切に対応すること。
(14) 工事材料の検査は指定されたものの他か、必要に応じて実施する。
(15) 受注時、変更時及び完成時において、工事実績情報システム（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員に提出・承諾を受けた後登録の手続きを行い、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出すること。
(16) 下請負契約がある場合は、施工体制台帳及び施工体系図を提出すること。
(17) 改正健康増進法に伴う、受動喫煙防止対策を必要に応じて講ずること。

「請負契約後及び工事施工に際してのお願い」
◎地場産業の振興のため請物製品等の使用材料については、市内の製品を使用して下さい。
市産品企業・製品リストの最新版は、市のホームページに掲載の「公共工事における川口市産品の活用促進について」を確認して下さい。
◎元請業者は、下請負をさせる場合には、市内業者に発注して下さい。
◎元請業者は、前払金及び請負代金を受領した時は、極力1ヶ月以内に出来るだけ早い時期に、請負業者へ支払って下さい。
◎工事期間中において、歩道や建物の出入り口等に供している場所に、仮設物を設置する場合はバリアフリー対応にして下さい。
◎使用する木材は、埼玉県産とするように努めて下さい。

川口市建築工事における「週休２日制モデル工事」特記仕様書
1　週休2日制モデル工事
(1)本工事は、川口市建築工事における「週休２日制モデル工事」試行要領(令和8年3月版)の「週休２日制モデル工事Ⅰ型(現場閉所型)」の試行対象工事である。試行の実施は、川口市建築工事における「週休２日制モデル工事」試行要領(令和8年3月版)によるものとする。
試行要領は、川口市ホームページで確認すること。

2　特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と㊟印の付いた場合は、共に適用する。　○印と※印の付いた場合は、○のみ適用する。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等 ②電気保安技術者 ③技能士	⊙建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修　令和４年版） ※適用する　(1.3.3) ※各工事において、作業員を指導する技能士の参加に努める。　(1.5.2) 適用工事種別：技能検定作業 ・仮設工事：・とび作業 ・鉄筋工事：・鉄筋組立作業 ・コンクリート工事：・型枠施工作業　・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 ・鉄骨工事：・構造物鉄工事作業　・とび作業 ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ：・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰﾗｰｽﾚｰﾄﾞ工事作業 ・防水工事：・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁｬ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・石工事：・石張り作業 ・タイル工事：・タイル張り作業 ・木工事：・大工工事作業 ・屋根及びとい工事：・内外装板金作業　・スレート工事作業 ・金属工事：・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業 ・左官工事：・左官作業 ・建具工事：・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　・ガラス工事作業　・自動ドア施工作業 ・カーテンウォール工事：・金属製カーテンウォール工事作業　・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業 ・ガラス工事作業 ・塗装工事：・建築塗装作業 ・内装工事：・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業 ・排水工事：・建築配管作業 ・舗装工事：・溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾞﾝﾏｰｶｰ工事作業 ・植栽工事：・造園工事作業
	④監理技術者等	・主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間　契約日から平成　年　月　日 ・現場代理人の現場への常駐を要しない期間　契約日から平成　年　月　日
	⑤工事実績情報の登録	※行う　・行わない　(1.1.4)
	⑥材料の品質等	本工事に使用する材料等は、設計図に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 材料・機材等の製造業者等は次の（１）から（６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。　(1.4.2) （１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （３）安定的な供給が可能であること （４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （６）販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁　平成18年2月15日）に準拠した証明書を提出する。
	⑦アスベスト含有建材の取扱い	各種材料については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含有する建材は使用してはならない。
	⑧化学物質を放散させる建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の１）から４）を満たすものとする。　(1.4.1) １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する ５）１）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次のとおりとする。 規制対象外 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項により国土交通大臣の認定を受けた材料 第３種 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑨特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑩防水工事保証書	※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根 建物引き渡し日から１０年間、請負者、施工者、材料メーカーの３者連名とし２部提出する。
	⑪発生材の処理等	・現場説明書による　・構外搬出適切処理　・引渡しを要するもの図示　(1.3.8) 引渡しを要さないものは、すべて構外搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し、監督員に報告する。
	⑫施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	⑬設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	⑭埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝに基づく電子納品	※対象とする　⊙対象としない ・電子納品対象資料は、工事写真及び完成写真とし、作成は「建築・設備工事電子納品写真要領」による。
	⑮施設CADデータの更新	※行う　・行わない
	⑯図面情報電子化媒体	※図面情報電子化媒体 なお、「埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領」により作成する。
	⑰完成図等	※作成する　・現場説明書による　(1.7.1～3)(表1.7.1) ※竣工図：Ａ３二つ折り製本２部 ※図面情報電子化媒体(CD-R)を一部納品する。 ※保全に関する資料　※保証書 ※予備材料名称・数量 ※竣工施工図、製作図　dwg形式一式納品
	⑱完成写真	下記のものを監督員に提出する。　ただし、原版は撮影業者の保管とする、作成は「営繕工事写真撮影要領・川口市建築工事写真作成要領」による。 分類・規格：撮影箇所数：部数：備考 ※カラー　⊙キャビネ版　外部（　）内部（　）　※１　植樹後（外部） ・全紙パネル　外部（　）内部（　）　※１ 他に外観正面１カット（カラーキャビネ版）のみ　枚 撮影業者　・監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。） ㊟電子成果品として、電子媒体(CD-R)を一部納品する。 ⊙完成図書等の提出時期は建物引き渡し後、概ね6ヶ月以内とする。

章	項目	特記事項
	⑲設計ＧＬ	※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ　・ベンチマーク位置　図示
	⑳条件明示項目	※火災保険等（種類　期間　）
	㉑施設使用マニュアルの作成	工事目的物の引渡しに際しては、建物を構成する部分で通常取り扱いに注意を要するものについては、その使用方法について解説したマニュアルを作成し、施設を管理することとなる者へ引き渡す。
	㉒その他	※建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。 ※調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
2 仮設工事	①監督員事務所	・設ける　⊙設けない　(2.3.1) 監督員事務所の規模及び備品　㎡ ※次の備品について　2名分相当とする。　(2.3.1) ・机　・いす　・書棚　・黒板　・製図板等　・掛時計　・寒暖計 ⊙長ぐつ　⊙雨がっぱ　・保護帽　・懐中電灯　⊙安全帯　・軍手 ・電話機　・衣類ロッカー　・冷暖房機器　・消火器　・撮漕器　・茶器　・掃除用具
	②工事用水	構内既存の施設　・利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）
	③工事用電力	構内既存の施設　⊙利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	④工事用搬入路	※図示による
	⑤仮囲い	※図示による
	⑥交通整理員	⊙必要に応じ搬入路付近に交通整理員を配置する。
	⑦工事概要案内板	※設置する　・設置しない
	⑧手すり先行足場	足場を設ける場合、標準仕様書2.2.4(b)によるほか、設置の際は、「手すり先行工法に関するガイドライン」の別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。
3 土工事	①埋戻し及び盛土	(3.2.3) 埋戻し及び盛土の種別 ・Ａ種　適用場所（　） ⊙Ｂ種　適用場所（　） ・Ｃ種　適用場所（　）土質（　）受渡場所（　） ・Ｄ種（細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。） ・　適用場所（　）
	②建設発生土の処理	・現場説明書による　(3.2.5) ⊙場外搬出適切処理　・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に散き均し
	③山留めの存置	※存置しない　・存置する（存置範囲　・図示　・　）　(3.3.3)
4 地業工事		特記仕様書（構造関係）による
5 鉄筋工事		特記仕様書（構造関係）による
6 コンクリート工事	①コンクリートの種類及び品質（構造体以外）	(6.2.1) ⊙普通コンクリート　※特記仕様書（構造関係）による　・下記表による ・軽量コンクリート　・無筋コンクリート　・その他（　） コンクリートの品質 ｺﾝｸﾘｰﾄ種別：設計基準強度 Fc (N/mm²)：気乾単位容積質量(t/m³)：スランプ(cm)：施工場所等 ・18・21・24・：・21・18・15・： (8.5.2～5)
7 鉄骨工事		特記仕様書（構造関係）による
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造	(8.2.2、5) ブロックの種類 断面形状及び圧縮強さによる区分：正味厚さ(mm)：ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ：高さ：化粧の有無：適用箇所：備考 ※空洞ブロック　16：・無　・有 ・型枠状ブロック　20：・無　・有 各部の配筋　※図示　・
	2 コンクリートブロック帳壁及び塀	(8.3.2、3) ブロックの種類 断面形状及び圧縮強さによる区分：正味厚さ(mm)：ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ：高さ：化粧の有無：(表8.3.1)以外の適用箇所：備考 ・空洞ブロック　12　120：・無　・有 ・空洞ブロック　16：・無　・有 各部の配筋　※図示　・
	3 ＡＬＣパネル	(8.4.2～5) パネルの種類：単位重量(N/㎡)：厚さ(mm)：長さ(mm)：耐火性能：表面加工：構法の種別 ・外壁パネル：・100・：有(1)時間：・平・意匠：・Ａ種・Ｂ種 ⊙間仕切壁パネル：⊙100・：・有(1)時間 ⊙無：⊙平・意匠：⊙Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種 ・屋根パネル：・100・：有(0.5)時間：平：Ｆ種 ⊙床パネル：⊙100・：⊙有(1)時間 外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法・適用しない 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm）　※20　・ 伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない
9 防水工事	①アスファルト防水	(9.2.2～5)（表9.2.3～9） 屋根防水保護 防水層の種別：種別：施工箇所：断熱材 G：絶縁用シート：立上り部の保護 ・Ａ－１ ・Ａ－２ ・Ａ－３ ・Ｂ－１ ・Ｂ－２ ・Ｂ－３ ⊙Ａ－１ ・Ａ－２ ・Ａ－３ ・Ｂ－１ ・Ｂ－２ ・Ｂ－３ (材質)※JIS A9521による Ａ種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b(ｽｷﾝ) ・ (厚さ)・25mm⊙50mm ※ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・ ※ﾌﾗｯﾄｰﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・ ⊙乾式保護材 ・れんが押え ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ　※水下　80mm以上　・ 床タイル張り　※水下　60mm以上　・ ⊙乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原材料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。 屋根露出防水 防水層の種別：種別：施工箇所：断熱材 G：仕上塗料 種類：仕上塗料 使用量：高日射反射率防水の適用G ・Ｄ－１ ・Ｄ－２ ・Ｄ－３ ・Ｄ－４ ・ＤＩ－１ ・ＤＩ－２ (材質)※JIS A9511による Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透質係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ)・25mm　・ ・：・：・製造所の指定による：・：・製造所の指定による：・ 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示　・ 防水層の種別：種別：施工箇所：種別：施工箇所 ・Ｅ－１：・Ｅ－２ 保護層　・設ける（※図示　・　）　・設けない 防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ ※標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げの種別]のB種　・ 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製　Ｌ－30×15×2.0mm程度　・ 防水層の下地モルタル塗り　・適用する（施工範囲　・図示　・　） ・適用しない 屋根排水溝　※図示　・
	②改質アスファルトシート防水	(9.3.2、3)(表9.3.1～3) 防水層の種別：種別：施工箇所：断熱材 G：防湿層：高日射反射率防水の適用G ・ＡＳ－Ｔ１ ・ＡＳ－Ｔ２ ・ＡＳ－Ｊ１ ・ＡＳ－Ｔ３ ・ＡＳ－Ｔ４ ・ＡＳ－Ｊ２ ・ＡＳＩ－Ｔ１ ・ＡＳＩ－Ｊ１ (材質)※JIS A9511による Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透質係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ)・25mm　・ ・：・：・：・：・：・：・ ・：・：・：・：・：・：・ ・設ける（改質アスファルト製造所の仕様による） ・設けない 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・ 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による　・

決裁欄	川口市 －8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事		特記仕様書（1）	SCALE A3:Non Scale A1:Non Scale	NO. A-001
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　佐藤　啓智	TOTAL NO

10 石工事

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表9.4.1、2)

防水層の種別

種別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材 G	仕上塗料	高日射反射率防水の適用G
⊙S－F1	屋上(PH)			⊙ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・S－F2					・
・S－M1				・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・S－M2					・
・S－M3					
・SI－F1			(材質)※A種ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合する・(厚さ)・25mm・	・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・SI－F2					・
・SI－M1			(材質)※A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出し法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板・(厚さ)・25mm・	・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ	・
・SI－M2		※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・			・

ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.2による ・
防水下地がＰＣコンクリート部材下地の場合の処理
目地処理 ※図示 ・
入隅部の増張り（Ｓ－Ｆ１、ＳＩ－Ｆ１の場合） ※図示 ・

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

④ 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1、2)

防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用G
・X－1		・ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ		・
⊙X－2	設備架台、パラペット	⊙ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ		・
・Y－1	※地下外壁防水 ・			
・Y－2	※屋内防水 ・		・適用する ・適用しない	
・屋根遮硬化ｳﾚﾀﾝ	放水壁			

⑤ ケイ酸質系塗布防水

(9.6.1、3)(表9.6.1、2)

防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※ＣＲＳＵＩ	ELVピット、井水・雨水貯留槽	・ＣＲＳＵＩ	

6 脱気装置

(9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J2 ASI-T1 ASI-J1	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による・ 個／㎡
X-1	・防水層の主材料の製造所の仕様による・	・防水層の主材料の製造所の仕様による・ 個／㎡

⑦ シーリング

(9.7.2)(表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による
ただし、外壁タイル接着材張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具	MS-2
外壁打ち継ぎ目地	PU-2
ガラス	SR-1

シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3（a）(1)～(3)による ・

8 防水工事施工票

※設置する（ ヶ所）（施工年月日は防水工事施工完了日（手直しは除く）を記入）

1 施工

(10.1.3、5)

石材の割付け ※標準仕様書10.1.3(a)(1)、(2)による
縁面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ ・図示 ・
屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・行う（適用場所 ・すべて ・ ）
・行わない

2 石材等

天然石

(10.2.1、3)(表10.2.1、2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げ
外部壁	・1等品 ・2等品	御影石	※正方形に近い矩計・		20 15	本磨き
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩計・			
	・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩計・			

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法(mm)	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		

取り付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石表面処理材、裏打ち処理材
※石材施工業者の指定する製品 ・

11 タイル工事

3 外壁湿式工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工ｱﾝｶｰ工法 ・あと施工ｱﾝｶｰ、横筋横流し工法
受金物 材質 ※SS400 ・
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm
・
ドレインパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き25～35φ
・
アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法（ ）
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書11.1.1による ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
・図示

4 内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物 材質 ※SS400 ・
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 L=150mm

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法（ ）
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・図示
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(3)による
・図示

5 乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
だ張用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(b)(1)による ・図示
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
アンカーの材質及び形状 ※ステンレス(SUS304) M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法（ ）
目地 目地幅(mm) ※8以上 ・
シーリング材 ・適用する（※標準仕様書9章7節による ・図示） ・適用しない

6 床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 ・
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び仕上部材との取り合い部
・図示

7 アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、2)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(c)による ・
引金物、だぼ、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による ・
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける 吊金物 ※ステンレス（SUS304）径6mm長さ80mm(加工物)
・
吊りボルト ※ステンレス(SUS304)M10化粧ナット付き
・
・設けない
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ・SS400 M12 ・ステンレス(SUS304)M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法（ ）
目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
伸縮調整目地 位置 ※他の部位との取合い部 ・図示

8 笠木、甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、3)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(c)による ・
引金物、だぼ、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10.5.3(b)による ・
石裏の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
アンカーの材質及び径 ・ステンレス(SUS304)M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法（ ）

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)(表11.1.1)

位置 ※標準仕様書11.1.1による ・図示

② セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状・寸法等

(11.2.2、3、7)

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用G	耐凍害性 有	無	滑り抵抗性	備考
ポーチ	300角	○			○			○	○			○		○	
風除室 ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	300角	○			○			○	○			○		○	
緊急消毒室	50角 100角	○				○		○	○			○		○	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR工法・目荒し工法（高圧洗浄）・
壁タイル張りの工法
外壁タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り

・既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付けモルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

3 接着剤による陶磁器質タイル張り

(11.3.2～4、7)

タイルの形状・寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用G	耐凍害性 有	無	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ F☆☆☆☆
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・
その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法・目荒し工法（高圧洗浄）・

4 陶磁器質タイル型枠先付け

(11.4.2、3)(表11.4.1)

タイルの形状・寸法等

施工箇所	主な用途による区分	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	釉薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用G	備考

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

タイル型枠先付けの種類

種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種別
・タイルシート法	・小口タイル	※標準仕様書6.8.3(b)(2)
・目地鋏法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付け用パネル
・桟木法	大形タイル	・

12 木工事

1 施工一般

2 製材 G

材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1)
※F☆☆☆☆ 又は 標準仕様書 12.2.1(1)(ｳ)(b)による

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)(表12.2.2)

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※2級 ・	※A種 ・B種	
			※2級 ・	※A種 ・B種	
			※2級 ・	※A種 ・B種	

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面			※上小節 ・	※A種 ・B種	
見え掛り面以外			※小節以上 ・	※A種 ・B種	
				※A種 ・B種	

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
			※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・	
			※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用
		（ ）造作材の場合（※A種・B種）	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない
		（ ）造作材の場合（※A種・B種）	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない

3 造作用集成材 G

(12.2.1)
ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ⊙ F☆☆☆☆
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
		25	※１等 ・２等	・
			※１等 ・２等	・
			※１等 ・２等	・

・構造図による

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
					※１等 ・２等	・
					※１等 ・２等	
					※１等 ・２等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	間伐材等の適用
					・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※A種・B種・	・
				※A種・B種・	・
				※A種・B種・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※A種・B種・	・

4 造作用単板積層材 G

(12.2.1)
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工 ・天然木加工・塗装加工） ・無し（等級： ）	・適用する ・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り（加工・天然木加工・塗装加工） ・無し（等級： ）	・適用する ・適用しない	※14%以下	・

5 床張り用合板等

(12.2.1)
ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・ F☆☆☆☆
・普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	間伐材等の適用
	5.5 ・12		・1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C-D以上・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
壁 屋根 小屋	・9 ・12 ・24	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する（ ） ・適用しない	・

・パーティクルボード G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	※15		※13タイプ ・	※P又はM ・	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・１級 ・２級 ・３級 ・４級

⑥ 接着剤

(12.2.2、3)
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ⊙ F☆☆☆☆

7 防腐・防蟻処理

(12.3.1、2)
・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材
適用部位：（ ）
・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※標準仕様書12.3.1(3)(ii)①～④による ・
	※標準仕様書12.3.1(3)(ii)①～④による ・

・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）

決裁欄 川口市 -8.8.13 建築課

TITLE 新郷分署改築工事
P. DAYS
PLAN DRAW SIGN

特記仕様書（2）
SCALE A3:Non Scale A1:Non Scale
NO. A-002
TOTAL NO.

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
訓練屋根	※JIS G 3322の屋根用コイル ・		⊙0.4	・心木なし瓦棒葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺 ⊙縦葺	

下葺材料 ⊙アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
(・一般タイプ・複層材タイプ・粘着層付タイプ)
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
雪止め ⊙設置する(図示)

② 折板葺

(13.2.2)(13.3.2、3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
訓練塔	・重ね形 ⊙はぜ締め形 ・かん合形	170	500	( )種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製	0.8	・有り ⊙無し	⊙30分 ・無し
	・							

材料 板及びコイルの種類(　　)
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号(　　)
断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 5 防火性能: 時間)
⊙無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

③ 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
訓練屋根							⊙適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

瓦桟木 材質 ※杉又はひのき ・
寸法 ※幅21×高さ15(mm) ・
横補強用心材 材質 ※杉又はひのき ・
寸法 ※幅40×高さ30(mm) ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
瓦桟木の留付け工法 ※図示 ・
棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(d)(1)～(4)による ・

④ とい

(13.5.2、3)(表13.5.5)

といの材質 ・配管用鋼管 ⊙硬質ポリ塩化ビニル管 ⊙ ステンレス製
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
鋼管製といの防露巻き ・適用する(工法:※標準仕様書表13.5.5による ・)
・適用しない

ルーフドレイン

種別	施工箇所
⊙ろく屋根用(⊙縦型 ⊙横型)	パラペット
⊙バルコニー用	
⊙バルコニー中継用	

⑭ 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)
※HL程度	階段室防火戸方立て
・鏡面仕上程度	
・No.2B程度	

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)
・A-1種	※AA15・	
・A-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA15・	
・B-1種	※B ・	
⊙B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※B ・	笠木
・C-1種	※AA6・	
・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA6・	
・D種		
・		

陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)
溶融亜鉛めっき	・A種	
	⊙B種	訓練塔
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
屋外(※25形 ・19形) 屋内(※19形 ・25形)
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ⊙ @ 900
周辺部の端からの間隔 ・図示 ⊙ 150以内
野縁の間隔 ・図示 ・ 標準仕様書14.4.2

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示 ・

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h)(1)～(2)による ・図示 ・

・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法 ※図示 ・

⊙天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ・図示 ⊙屋内の天井下地全て
補強方法 ※図示 ⊙耐震天井標準図【参考図】

⑤ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
※標準仕様書14.5.1によるスタッド高さによる区分に応じた種類 ・図示 ・
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 ・

⑥ 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	
						種別	皮膜等の種類
⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ	⊙押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				・B-1種	※B ・
	・プレス	パネル形				⊙B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※B ・
	・					・C-1種	※AA6 ・
						・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA6 ・
						・D種	
・							

取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示 ・
伸縮調整継手 ・設ける(施工箇所 ・図示 ・) ・設けない

7 アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類 ・250形 ・300形 ・350形 ・図示
表面処理 種別(B)種 皮膜等の種類(※標準仕様書14.2.1による ・)
着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

⑧ 手すり及びタラップ

(14.8.2、3)(表14.2.1)

手すり ・ステンレス製 SUS304(表面処理 ※HL程度 ・No.2B程度 ・)
・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種 ・)
タラップ ⊙ステンレス製 SUS304(表面処理 ※研磨なし ・)
・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきC種 ・)

⑮ 左官工事

① モルタル塗り

(15.2.2、5)

既製目地材 ・設ける 施工箇所(　　) 形状(※図示 ・)
・設けない
床目地 ・設ける(工法※押し目地 ・)
・設けない
外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験 ・適用する
・適用しない

② 床コンクリートの直均し仕上げ

(6.2.5)(15.3.2)

下表以外は標準仕様書15.3.2による

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(パネル構法)範囲	1mにつき10以下	
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(溝構法)範囲	3mにつき7以下	
・		

③ セルフレベリング材塗り

(15.4.2)(表15.4.1)

・せっこう系 ⊙セメント系

④ 仕上塗材仕上げ

(15.5.2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状(・吹付け・ﾛｰﾗｰ塗り)
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平たん状
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状(・吹付け・こて塗り)
	・外装薄塗材S	・	・着色骨材砂壁状(・吹付け・こて塗り)
	・内装薄塗材C	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく
	・内装薄塗材Si	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装薄塗材E	・	耐湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装薄塗材W	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	吸放湿性 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材C	・	上塗材 ・適用する ・適用しない
	・内装厚塗材L	・	
	・内装厚塗材G	・	
	・内装厚塗材Si	・	
	・内装厚塗材E	・	
⊙複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	⊙ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	・	
	・複層塗材Si	・	上塗材
	・複層塗材E	・	耐候性 ※耐候形3種
	⊙複層塗材RE	・	溶媒 ※水系 ・溶剤系
	・防水形複層塗材CE	・	樹脂 ・アクリル系 ⊙フッソ樹脂
	・防水形複層塗材E	・	外観 ※つやあり・つやなし・ﾒﾀﾘｯｸ
	・防止形複層塗材RE	・	
	・防水形複層塗材RS	・	増塗材 ・適用する ・適用しない
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材		
	・こて塗用軽量塗材		

⑤ ＡＬＣパネルの場合の下地処理

(15.5.4)

内壁目地部の形状 ※Ｖ形目地付き ・

6 マスチック塗料塗り

(15.6.2)

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種(仕上材塗り:EP-G ※B種 ・A種)

⑦ ロックウール吹付け

(15.8.2)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
吹付け厚さ(mm) ・図示 ・25 ・

⑯ 建具工事

① 防火戸

※建具表による ・

2 見本の製作等

(16.1.4)

建具見本の製作 ・行う(建具符号:)
・行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号:)
・行わない

3 防犯建物部品

(16.1.6)

・適用する(※建具表による ・)
・適用しない

④ アルミニウム製建具

(16.2.2、4、5)(表14.2.1)

性能等級
外部に面する建具 ・Ａ種(建具符号:※建具表による ・)
⊙Ｂ種(建具符号:※建具表による ・)
・Ｃ種(建具符号:※建具表による ・)
防音ドアセット、防音サッシ ⊙適用する 遮音性の等級( )
(建具符号 ⊙建具表による ・)
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
枠の見込み寸法 ⊙建具表による ・
表面処理
外部に面する建具 ・BB-1種 ⊙BB-2種 ・
皮膜等の種類(※標準仕様書14.2.1による ・)
着色(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)
屋内の建具 ・C-1種 ・C-2種 ・
皮膜等の種類(※標準仕様書14.2.1による ・)
着色(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)
結露水の処理方法 ※図示 ・
水切り板、ぜん板 ※図示 ・

⑤ 網戸等

(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具

(16.3.2～5)

性能等級
外部に面する建具 ・Ａ種(建具符号:・建具表による ・)
・Ｂ種(建具符号:・建具表による ・)
・Ｃ種(建具符号:・建具表による ・)
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級(・T-1 ・T-2)
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級(・H-4 ・H-5 ・)
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面色 ※標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示 ・
ガラス ※複層ガラス ・

⑦ 鋼製建具

(16.2.2)(16.4.2～4)(表16.4.2)

性能等級
簡易気密型 ・適用する(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ⊙S-4種(建具符号:・建具表による ・)
・S-5種(建具符号:・建具表による ・)
・S-6種(建具符号:・建具表による ・)
防音ドアセット、防音サッシ ⊙適用する 遮音性の等級( )
(建具符号:⊙建具表による ・)
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない

鋼板

材料	めっき付着量	厚さ
・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12 ・	・標準仕様書表16.4.2による ・
・JIS G 3317(溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08 ・	

⑧ 鋼製軽量建具

(16.2.2)(16.5.2～4)

性能等級
簡易気密型 ・適用する(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板
鋼板の厚さ ・標準仕様書16.5.1による ・
召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・建具表による

⑨ ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～4)

性能等級
簡易気密型 ・適用する(建具符号:・建具表による ・)
⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4種(建具符号:・建具表による ・)
・S-5種(建具符号:・建具表による ・)
・S-6種(建具符号:・建具表による ・)
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシG ・適用する 断熱性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級( )
(建具符号:・建具表による ・)
・適用しない

鋼板(屋外) ※SUS430JIL、SUS443J1、SUS304 ・
鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430JIL、SUS443J1、SUS304 ・
表面仕上げ ※ＨＬ仕上げ ・鏡面仕上げ ・
ステンレスの鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

10 木製建具

(16.7.2～4)

建具材の加工、組立時の含水率 ※Ｂ種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り(※ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り(※しな程度 ・) 板面の品質( ) 接着の程度(・1級 ・2級)	
・天然木 化粧合板 G	樹種名( ) 接着の程度(・1級 ・2級)	
・特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法(・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装) 表面性能( )タイプ 接着の程度(・1級 ・2級)	

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・

・かまち戸
かまち樹種( ) 鏡板樹種( )
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別(・Ⅰ型 ・Ⅱ型)
上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠、くつずりの材料 ・建具表による ・ タモ集成材

決裁欄

川口市 -8.8.13 建築課

TITLE 新郷分署改築工事
P. DAYS
PLAN | DRAW | SIGN

特記仕様書(3)
SCALE A3:Non Scale A1:Non Scale
NO. A-003
TOTAL NO

一級建築士事務所(8)1951号一級建築士(大臣)161139号
有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智

⑪ 建具用金物

金物の種類・見え掛り部の材質等 (16.8.2、3)
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・
樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ⊙建具表による ・

⑫ 鍵

(16.8.4)

マスターキー ⊙製作する ・製作しない
その他の鍵 ※各室３本１組 ・
鍵箱 ※有り ・無し

⑬ 自動ドア開閉機構

(16.9.2、3)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ⊙DSLD-2	※標準仕様書表16.9.1による・	⊙適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ⊙光電スイッチ ・電波スイッチ ⊙タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ⊙ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ⊙行わない
・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書表16.9.2による・			
・図示	・			

⑭ 自動式上吊り引戸装置

(16.10.3)

性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・

⑮ 重量シャッター

(16.11.2、3)

シャッターの種類	耐風圧強度
⊙一般重量シャッター	耐風圧強度（ ）N/㎡
⊙外壁用防火シャッター	耐風圧強度（ ）N/㎡
⊙屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式
一般重量シャッターのシャッターケース ⊙設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ⊙JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・

⑯ 軽量シャッター

(16.12.2～4)

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）N/㎡
スラットの材質
⊙JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量 ※Z06又はF06 ・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量 ※AZ90 ・
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

⑰ オーバーヘッドドア

⊙建具詳細による (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

⑱ ガラス

(9.7)(16.14.2～4)(表16.14.1)

・合わせガラス

品種	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種類	性能
⊙フロートガラス	⊙フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・型板ガラス	・型板強化ガラス	

・熱線吸収板ガラス

品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・１種 ・２種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収網入磨き板ガラス		

⊙複層ガラス

品種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス（内部）	・１種	U1
	・２種	U2
	・３種	U-3-1 ・U-3-2
⊙日射熱遮へい複層ガラス	⊙４種	E4
	・５種	E5

・熱線反射ガラス

品種	日射遮へい性	耐久性
・熱線反射ガラス 色調（・ブルー ・グレー）	・１種	A種
	・２種	・A種 ・B種
・高性能熱線反射ガラス 色調（・ブロンズ ・シルバー）	・３種	B種

反射被膜面 ・内面 ・外面
映像調整 ・行わない ・行う

19 ガラスブロック

・倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス	ー
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※標準仕様書表16.14.1による ・図示 ・

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・				
	・200×200	・95 ・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ・ ）
・設けない
力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状横筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 ・
形状 ※図示 ・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない
目地部の力骨の補強方法
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

20 危害防止機構

(16.11.2)(16.12.2)(16.13.2)

感知器からの信号を受けて自動的に閉鎖する防火または防煙ｼｬｯﾀｰには、「防火ｼｬｯﾀｰ閉鎖作動時の危害防止ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（(社)日本ｼｬｯﾀｰ･ﾄﾞｱ協会 平成28年告示723号）における危害防止機構として、当該ｼｬｯﾀｰ最下部の座板に設置する感知板が人に接触すると同時に閉鎖動作を停止させ、その後、人がいなくなった時に再び降下を開始し、完全に閉鎖させるよう自動開閉装置へ信号を送る障害物感知装置を設ける。
ただし、吹き抜けに面する等、ｼｬｯﾀｰ降下中のくぐり抜け行動が想定されないものは除く。
危害防止機構の不設置箇所 ・図示

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

(17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

取付方法 ・層間方式 ・柱・梁方式 ・方立方式 ・スパンドレル方式 ・
性能

耐震性能 水平方向(kH)	耐震性能 垂直方向(kV)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
・1.0 ・	・0.5 ・					・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
・適用しない

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能	状態
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
4mを超える	・	

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量(h=支点間距離)	変位後の状態
鉄骨造	・±(1/200)×h以上 ・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・±(1/300)×h以上 ・	ｼｰﾘﾝｸﾞは補修程度の損傷であること。

シーリング材
下表以外は標準仕様書表9.7.1による

被着体の組合せ		シーリング材の種別 記号	シーリング材の種別 主成分による区分
金属	ガラス	ＳＲ-1	
	石、タイル	ＭＳ-2	
ガラス	ガラス	ＳＲ-1	
カーテンウォール板間目地			

構造用ガスケット
・適用する（施工箇所 ・図示 ・ ）
材質 ・クロロプレン系 ・EPDM系 ・シリコーン系
形状 ・H型 ・Y型 ・C型
寸法(mm) ガラス板厚（ ）、支持枠の厚さ（ ）、ウェブの寸法（ ）
・適用しない

断熱材 Ⓖ
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
施工箇所 ・図示 ・

2 メタルカーテンウォール

耐火材料

施工部位	種別	規格帯
⊙ファスナー部		
・取付ブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		
⊙方立		

カーテンウォールの材料

材料	規格等		映像調整
※アルミニウム製	※標準仕様書16.2.3による・	・A-1種 ・A-2種 ・ 皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による ・ ） 着色（・ｱﾝﾊﾞｰ ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ﾌﾞﾗｯｸ系 ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	・行う ・行わない

製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1～3による
ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による ・

3 PCカーテンウォール

(17.3.2～5)

カーテンウォールの材料
コンクリート ※標準仕様書17.3.2(a)(ⅰ)～(ⅳ)による ・
鉄筋 ※SD295A（・D13 ・D10）
補強鉄線の径(mm) ※3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
配筋 ※図示
先付けの材料 ・サッシ枠 ・ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ材 ・磁器質タイル
・石材（・花こう岩 ・大理石 ・ ）
・
ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・h=-1～+2、W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1～2による

18 塗装工事

① 材料

(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
⊙防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面		※C種 ・A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種 ・C種
モルタル面及びプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面		※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・B種	
	見え隠れ部分	※B種 ・A種	
亜鉛めっき面	鋼製建具	※A種 ・B種 ・C種	・A種 ・B種
	鋼製建具以外	※C種 ・A種 ・B種 ・C種	

④ 塗装

(18.4.1～18.4.2)

塗装	種別	塗料の種別
⊙合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り(SOP) 木部屋外	※A種 ・B種	※1種 ・2種
木部屋内	※B種 ・A種	※1種 ・2種
鉄鋼面	※B種 ・A種	※1種 ・2種
亜鉛めっき鋼面	ー	※1種 ・2種
・クリヤラッカー塗り(CL)	※B種 ・A種	ー
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	※B種 ・A種	ー
⊙耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面	ー	上塗り等級(1)級
亜鉛めっき鋼面	ー	上塗り等級(1)級
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種 ・B種 ・C種	上塗り等級（ ）級
⊙つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G) コンクリート面等	※B種 ・A種	ー
屋内の鉄鋼面	※B種 ・A種	ー
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	※B種 ・A種	ー
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)	※B種 ・A種	ー
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	※B種 ・A種	ー
・ラッカーエナメル塗り(LE)	※B種 ・A種	ー
・オイルステイン塗り(OS)	ー	ー
⊙木材保護塗料塗り(WP)	※B種 ・A種	ー

屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 Ⓖ とする。

・高日射反射塗料塗り Ⓖ
下地調整（改修標準仕様書7.2.2） ・ＲＡ種 ・ＲＢ種 ・ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	耐候性屋根用塗料	2種	・１級 ・２級 ・３級	塗料製造所の仕様による

19 内装工事

① 接着剤

(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート Ⓖ

(19.2.2、3)

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
⊙発泡層のないもの	※FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ）・	⊙図示	・無地 ⊙柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性	⊙図示 ・	
・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	⊙防滑性 ・耐薬品性		

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）
特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7} ～$1\times10^{10}\Omega$程度
・

③ ビニル床タイル Ⓖ

(19.2.2)

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・ＦＴ（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・ＫＴ（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・3.0	
⊙ＦＯＡ（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	事務室	・無地 ⊙柄物	⊙500×500	⊙帯電防止 ・防滑性	・	

特殊機能
帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7} ～$1\times10^{10}\Omega$程度
・

④ ビニル幅木

(19.2.2)

材質 ⊙軟質 ・硬質
高さ(mm) ・60 ・100 ⊙図示
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

⑤ ゴム床タイル

施工場所：講堂 (19.2.2)
色柄（ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）

6 カーペット敷き Ⓖ

・織じゅうたん (19.3.3)(表19.3.1)

種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・無地 ・柄物（標準品）	・適用する（性能：※人体帯電圧3kv以下 ・ ） ・適用しない	

下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・タフテッドカーペット (19.3.3、4)

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する（性能：※人体帯電圧3kv以下 ） ・適用しない	
・ループパイル	・4～6 ・			
・レベルループパイル	・4 ・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・ニードルパンチカーペット (19.3.3、4)
厚さ(mm)（ ）帯電性 ・適用する（性能：※人体帯電圧3kv以下 ・ ）
・適用しない
備考（ ）

⊙タイルカーペット (19.3.3、4)

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カットループ併用	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松流し ・
見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等 ※図示 ・ ）
・適用しない

⑦ 合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表19.4.1～7)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
⊙厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床	⊙記載事項		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
⊙厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床	⊙車庫	・薄膜流し展べ工法 ⊙厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ⊙防滑仕上げ
⊙薄膜型塗床材	⊙格納庫		
・ｱｸﾘﾙ樹脂塗床（JIS K 5970）			工程 塗布量（kg/㎡） ・ 表面仕上げ ・平滑 ・防錆 溶剤 ・水性色 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

決裁欄

川口市 -8.8.13 建築課

TITLE	新郷分署改築工事			SCALE	NO.
P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	特記仕様書（4） A3:Non Scale A1:Non Scale	A-004
				一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智	TOTAL NO

8 フローリング張り

(19.5.2～7)(表19.5.1～6)

・単層フローリング Ⓖ

種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	・釘留め工法(根太張り)	※なら・	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法(直張り)	※なら・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		・
	・接着工法	※なら・	・12以上 ・15	板幅75 板長さ500以上		
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	・接着工法	※なら・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
	・モルタル埋込工法	※なら・	※15 ・	※303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品	・
・ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・

天然木化粧複合フローリング Ⓖ

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り)	※なら・		・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	※なら・	板厚 ・8以上・ 板幅 ・75以上 板長さ 900以上				・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外
接着工法の場合の緩衝材　※合成樹脂発砲シート　・
現場塗装仕上げ　・行う（施工箇所　・図示　）
・ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り
・クリアラッカー塗り
・行わない

9 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン Ⓖ ）
・図示

畳表及び畳床にはホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

10 せっこうボードその他のボード張り

(19.7.2、3)(表19.7.1)

種類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 Ⓖ	HM	・15 ・20 ・25 ・
・中質木毛セメント板 Ⓖ	HW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板 Ⓖ	NW	・15 ・20 ・25 ・
・硬質木片セメント板 Ⓖ	HF	・12 ・15 ・18 ・21 ・
・普通木片セメント板 Ⓖ	NF	・30 ・
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿）・5 ・6 ・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ（・9(不燃) ・12 ・ ） ・凹凸タイプ（・12(不燃) ・15 ・19 ・ ）
・ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	RW-B	・25 ・
・グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ号32K	GW-B	・25（ガラスクロス包） ・
・せっこうボード	GB-R	・12.5（不燃) ・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃） 化粧無（下張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	・12.5（不燃） ・9.5（準不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5（不燃） ・15（不燃） ・ 21（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5（不燃） 幅440mm程度 模様（・柾目 ・板目）専用下地材有り
・化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	GB-D	・9.5（準不燃） ・ 9.5（不燃）
・普通合板 Ⓖ		表面の材質 生地、透明塗料塗り （※ラワン程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 厚さ(mm)（ ） 接着の程度（ ） ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・天然木化粧合板 Ⓖ		樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類） 厚さ(mm)（ 5.5 ） ・防虫処理 ・難燃処理 ・ 不燃加工
・特殊加工化粧合板 Ⓖ		化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類） 厚さ(mm)（ ） ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K6903による（※1.2 ・ ）
・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂化粧板		
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ Ⓖ	MDF	・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード Ⓖ		・無研磨板VN ・研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・20
・化粧パーティクルボード Ⓖ		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＶ ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲＤＯ ・塗装ＤＣ ・10（難燃） ・12（難燃） ・
・ハードボード(素地) Ⓖ	HB	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RN ・研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ）RS
・ハードボード(化粧) Ⓖ		・内装用DI ・外装用DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード Ⓖ	IB	A級（・天井仕上 ・内装仕上 ・ ） ・9 ・12 ・15 ・18

せっこうボード等の下地は図示による。

11 壁紙張り

遮音シール材　⊙適用する（・シーリング材　⊙ジョイントコンパウンド）
・適用しない
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
合板類の張付け　※Ｂ種　・Ａ種
せっこうボードの目地工法　・仕上げ表による　・

(19.8.2、3)

壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・

施工箇所	壁紙の種類 紙	織物	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
仕上げ表による	・	・	・	⊙	・	⊙不燃・準不燃	強化・汚れ防止壁紙
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

モルタル、プラスター面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種
コンクリート・ＡＬＣ面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種
せっこうボード面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種

12 断熱材 Ⓖ

(19.9.2、3)

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

・断熱材打込み工法

種類		厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		・	
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材	・保温板(2種b)	・25・	・一般部分 ・
	⊙保温板(3種b)（ｽｷﾝあり）	・25・ ⊙図示	・床 ・ ⊙図示
・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材		・図示	ビット、屋根
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材（3種2号を除く）		・	

⊙断熱材現場発砲工法
断熱材の種類　※A種1　・B種1
厚さ(mm)　⊙25　・30　・
施工箇所　⊙図示　・

20 ユニット及びその他工事

1 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備考
事務室	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法・溝構法	⊙500×500・		⊙1.0G・0.6G	・3,000 ⊙5,000	⊙帯電防止ﾀｲﾙ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ・Pタイル	
	・ﾊﾟﾈﾙ構法・溝構法	・500×500・		・1.0G・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止ﾀｲﾙ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ・	
	・ﾊﾟﾈﾙ構法・溝構法	・500×500・		・1.0G・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止ﾀｲﾙ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ・	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(ⅰ)～(ⅲ)による　・
厚さ　±0.5mm
平坦度　パネル周辺部　1.0mm以下
図心と各頂点を結ぶ線上部　2.0mm以下

表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
構成材の材質　・アルミニウム製　・鋼製（仕上げ：　）　・
スロープ及びボーダー　・製造所の仕様による　・図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　・20～30パーセント　・
配線用取り出し開口　・パネル１枚につき、40mm×80mm程度の開口１箇所以上
・図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　・なし　・あり（形式、施工箇所：図示）

2 可動間仕切

⊙図示

(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 ｽﾀｯﾄﾞ	パネル	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・スタッド式（内張） ・スタッド式（露出） ・パネル式 ・スタッドパネル式				・鋼板・	・0.6 ・0.8	・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

3 移動間仕切

(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上材 材質	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)
⊙平行方向移動式・二方向移動式	⊙手動式・電動式・部分電動式	・プッシュ式・ハンドル式・	・80	⊙鋼板・	・焼付塗装・壁紙張り・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500HZの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示

4 トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類	脚部形状
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ⊙高圧メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・

5 視覚障害者用床タイル

(11.2.2)(19.2.2)

施工箇所		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内		⊙塩化ビニル製	⊙300×300・	・7.0 ・
		⊙磁器質タイル・せっ器質タイル	⊙300×300・	・
		・点鋲：ステンレスHL	・300×300・	・
屋外		⊙磁器質タイル・せっ器質タイル	⊙300×300・	・
		・レジンコンクリート製・コンクリート製	・300×300・	
		・塩化ビニル製	⊙300×300・	・

ブロックパターンは、JIS T 9251による。
※黄色もしくは周囲の環境とのコントラストを考慮した色とする。

6 階段滑り止め

(20.2.6)

材質	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド	
⊙ステンレス(SUS304)ビニルタイヤ入り・図示	⊙約35・	⊙接着工法・埋込み工法	⊙あり	・ビニル製 ⊙ステンレス製
			・なし	ー

7 手すり

材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・木製	・クリアラッカー ・ UCL	・35 ・45		
⊙ステンレスパイプ	⊙HL ・	⊙40	階段	
・鋼製パイプ	・ＥＰ－Ｇ ・ＳＯＰ ・ＤＰ	・42		
⊙ビニル製ハンドレール	⊙抗菌・光触媒入	⊙38	階段	

8 黒板及びホワイトボード Ⓖ

(20.2.8)

種類		寸法(mm)	色彩	形式	
・黒板	※焼付け・		※緑・黒	・平面・曲面	・スクリーン付引分・
⊙ホワイトボード	ほうろう		白	※平面・曲面	・スクリーン付引分・

9 鏡

(20.2.9)

取付箇所（　図示　）
寸法（mm）　・図示　・
厚さ（mm）　※ 5　・

10 表示

(20.2.10)

区分	材質	寸法(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
⊙衝突防止表示（・両面・片面）	⊙ステンレス製・図示	⊙30φ・	・市販品・	・図示・	
⊙室名札	・アクリル板 ⊙ 図示	⊙図示・	・5・	・図示・	
⊙ピクトグラフ	・アクリル板 ⊙ 図示	⊙図示・	・5・	・図示・	
・とびら番号	・アクリル板・	・図示・	・5・	・図示・	
⊙施設案内板	⊙アルミ板・	⊙図示・	・5・	・図示・	
⊙各階階数表示板	・アクリル板 ⊙ 図示	⊙図示・	・5・	・図示・	
・					

案内用図面記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示は市販品とする。
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。

11 煙突ライニング

(20.2.11)

・煙突用成形ライニング材
適用安全使用温度　・400℃　・650℃　・
・キャスタブル耐火材
煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする。

12 ブラインド

(20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材質	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材質	寸法・取付箇所
⊙横形	⊙手動	※ギヤ式 ⊙コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製・	※25・	※鋼製・	・図示・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット・	・80 ・100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示・
	・電動	ー				

アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品をしようする場合 Ⓖ

13 ロールスクリーン

(20.2.13)

材質	操作方法	遮光性	寸法(mm)	取付箇所	備考
⊙ポリエステル・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式 ⊙コード式	・１級 ⊙２級 ・３級	⊙図示・	⊙図示・	

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。

14 カーテン

(20.2.14)

形式	開閉方式	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ	・図示・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ	・図示・	

使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については、Ⓖとする。
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

15 カーテンレール

(20.2.14)

材種	※アルミニウム製	・ステンレス製
形式	⊙シングル	・ダブル
	・片引き	⊙引分け
強さによる区分	※10-90	
仕上げ	※アルマイト	・
形状	※角形	・

16 ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝型×深さ(mm)　・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ⊙図示
材質　・集成材（仕上げ：　UC　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
表面処理・C-1
・C-2（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
・
皮膜等の種類　※標準仕様書表14.2.1による　・
⊙鋼製（仕上げ：SOP　）

17 天井点検口

材質	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	⊙屋内用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ
		・気密形			

18 床点検口

材質	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ⊙鋼製	・450×450 ⊙600×600 ⊙径600	・一般形 ⊙密閉形 ・結露防止形	⊙屋内外用 ・屋内用	⊙鍵付き ・断熱材張(t=40)

19 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
⊙垂直方向 ⊙水平方向	※完全（全貫通型）	⊙耐火型 ・非耐火型	⊙有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	⊙シーリング材（見え掛かりのみ）・	・シーリング材（見え掛かりのみ） ⊙シーリング材（内外とも）
目地寸法(mm)	※２０×１０　・	※２０×１０　・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による。

20 止水版

形状　・差込式　⊙握置式　・壁張り式
施工箇所　⊙図示　・ピット

21 エキスパンション・ジョイント金物

⊙図示

材種	クリアランス	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・250 ・100 ・150	・有り（　） ・無し	

外部は防水型とする。

22 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ⊙ステンレス鋼(SUS304)製・	⊙ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

23 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙流し台	・1050 ⊙1500 ・1800	・550 ⊙600 ・650	・800 ⊙850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ⊙900	・350以上	・500 ⊙700	市販品
・水切り	・1800 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・１段式　・

品質・性能　JIS A 4420による。
形状　※図示　・

24 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
⊙アルミニウム合金製・	⊙テーパー式 ・同一断面式	7.0	・ハンドル式 ⊙ロープ式	⊙埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

25 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS304）　・

26 車止め支柱

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内臓式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製・	・	・
・固定式鎖内臓式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製・	・	・

27 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
⊙アルミフェンス
高さ　⊙図示　・

28 プレキャストコンクリート

(20.3.3～4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。
・図示
取付け方法
※図示

決裁欄

所長印 -8.8.13 建築課

TITLE	新郷分署改築工事			特記仕様書（5）	SCALE A3:Non Scale A1:Non Scale	NO. A-005
P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　佐藤　啓智		TOTAL NO

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2～3)

材種		種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	ー	ー	
・コンクリート間知ブロック	ー		・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目地り　・図示　・伸縮目地
材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

30 鋼製書架及び物品棚

種　類	規　格　等	ＪＩＳによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・１種　・２種　・３種
・鋼製物品棚		・４種　・５種　・６種　・

31 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

32 洗面カウンター
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（芯材：集成材）　⊙人工大理石
奥行き(mm)　・約500　⊙約600

33 防煙垂れ壁
・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
・網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス ・図示	・6.8 ・ ・図示	・500 ・ ・図示	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

34 屋外掲示板
照明器具　・有り　⊙無し
施　錠　⊙有り　・無し
製 造 所（　　）

35 収納家具
材質、形状・寸法　※図示　・
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・

21 排水工事

1 排水管　(21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

排水管用材料

材　種	管の種類	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（１種）	・Ｂ形管 ・	※図示 ・	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙ＶＰ		※図示　・	
	・ＶＵ		※図示　・	
	・RS-VU Ⓖ		※図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示　・
砂地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(1)　・図示
砂利地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(2)　・図示
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示

2 側塊、排水桝等　(21.2.2)
側塊、排水桝等
形状及び寸法　⊙図示　・
砂地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(1)　・図示
砂利地業に用いる材料　※標準仕様書(21.2.3)(a)(2)　・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示

3 鋳鉄製ふた　(21.2.2)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・RS-VU Ⓖ	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は、空気調和・衛生工学会規格SHASE-S209による。

4 グレーチング　⊙図示　(21.2.2)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｶﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用	・細目 ・	・（　　）	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・（　　）	・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用	ー	ー	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-25用	ー	ー	・平形 ・

5 街きょ、縁石、側溝　(21.4.1)(表21.4.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
・縁石	・図示　・
⊙U形側溝	⊙図示　・
⊙U形側溝ふた	⊙図示　・
・	・図示　・

地業の材料　※標準仕様書(4.6.2)(a)による　・図示
砂利地業の厚さ　※100(mm)　・図示
コンクリート基礎等に用いる材料
※標準仕様書(6.14)
設計基準強度18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比）
セメント１：砂２：砂利４程度とする。
・図示

6 埋戻し土　(21.2.3)
※Ｂ種 又は Ｃ種

22 舗装工事

1 路床　(22.2.2、3、5)(表22.2.2)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
⊙盛土	・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ	・図示 ・
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下） ・	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン Ⓖ　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量10%以下）	・図示 ・
⊙フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂（75μmふるい通過量6%以下） ⊙図示	・図示 ・

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントＢ種 Ⓖ
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg（目標CBR　・5以上　・　　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10-1cm/sec以上　・
試験
砂の粒度試験　・行う　⊙行わない
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　⊙行わない
路床締固め度の試験　・行う　⊙行わない

2 路盤　(22.3.2、3、5)(表3.2.1)

路盤の厚さ　⊙図示　・
路盤材料　・砕石
⊙再生クラッシャラン Ⓖ
・クラッシャラン鉄鋼スラグ Ⓖ
・図示
・
試験
路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

3 アスファルト舗装　(22.4.2～6)(表22.4.1)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料
アスファルト　・再生アスファルト Ⓖ　・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ
加熱アスファルト混合物の種類

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物（１３） ・細粒度アスファルト混合物（１３）
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物（１３Ｆ） ・細粒度アスファルト混合物（１３Ｆ）
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物（２０）

シールコートの施工　・行う　・行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

4 コンクリート舗装　(22.5.2～4、6)(表22.5.4)

コンクリート舗装の厚さ

舗装の種類	部位	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車道部	⊙図示　・150　・ ・図示　・70　・
転圧コンクリート		・図示　・150　・

縁部立上り寸法等　・図示
材料
コンクリート　・標準仕様書表22.5.2による　・
早強セメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
転圧コンクリートの工法　※図示　・
目地
種類、間隔、構造　※標準仕様書表22.5.4及び図22.5.1による　・図示
試験
コンクリート版厚さの試験　・行う　・行わない

5 カラー舗装　(22.6.2～4)(表22.6.1)

種類		部位	車道部の基層	厚さ(mm)
・加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道部 ・歩道部	・無し ・有り	
・常温系	・			

舗装厚さの許容差　※標準仕様書22.4.2(c)による　・
材料
添加する材料　・着色骨材（　　）　・自然石（　　）
配合
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　・
樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等　・

6 透水性アスファルト舗装 Ⓖ　(22.7.2、3、6)

適用範囲：歩道

材料	厚さ(mm)
ストレートアスファルト	⊙図示　・

試験
透水性アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　⊙行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

7 排水性アスファルト舗装 Ⓖ　(22.8.2、3、6)

区分	種類	材料	厚さ(mm)
表層	・排水性舗装用ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 ・	・ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型 ・	・図示 ・
基層	・加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等（密粒ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物） ・	・再生ｱｽﾌｧﾙﾄ Ⓖ ・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ	・図示 ・

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

8 ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装　(22.9.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板（Ｎ） ・透水平板（Ｐ） ・	※300角 ・	・60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

歩道部に使用するコンクリート平板は Ⓖ（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水平板は Ⓖ（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内
・

・インターロッキングブロック舗装　(22.9.2、3)

種類	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	備考
※普通ブロック（N）	車道部　※80　・	※5.0　・	色彩、表面加工
・透水性ブロック（P）	歩道部　※60　・	※3.0　・	※標準品
・誘導、注意喚起用ﾌﾞﾛｯｸ	・図示		・黄色系

歩道部に使用するブロックは Ⓖ（再生材料を用いた舗装用ブロック）とする。
透水性ブロックは Ⓖ（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内
・

・舗石舗装　(22.9.2、3)

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩）	・	・80	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装
・	・	・	・	

仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内
・

9 砂利敷き　(22.10.1)
種別
・Ａ種（施工範囲：・図示　・通路　・　　）
・Ｂ種（施工範囲：・図示　・建物周囲　・　　）

10 路面標示用塗料　JIS K 5665(路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・１種 Ⓖ	常温	液状	※白 ・	※150 ・100	※1.0 ・
・２種 Ⓖ	加熱				
⊙3種1号	溶融	粉体状			

Ⓖ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等　(23.1.3)
土壌の水素イオン濃度（pH）試験　・行う　・行わない
水溶性塩類（EC）の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※Ｂ種	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　・設けない

3 植込み用土
※現場発生土の良質土　・客土　(23.2.3)

4 土壌改良材　(23.2.3)
・バークたい肥 Ⓖ
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積１㎡あたり（・50L　・　）

・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） Ⓖ
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積１㎡あたり（・10L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

5 樹木　(23.3.2)
樹種、寸法、株立数等　※図示　・

6 支柱　(23.3.2、3)
支柱材　※丸太（間伐材）Ⓖ　・真竹
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　・

7 幹巻き用材料　(23.3.2)
材料
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

8 芝　(23.4.2)
種類　※コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けは種　(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後２年以内）	※発芽率80%以上		
・			

10 地被類　(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・			
・			

11 新植、移植樹木、芝等の枯補償　(23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から１年　・無し
移植樹木の枯損処置を行う機関
※引渡しの日から１年　・無し

12 屋上緑化 Ⓖ　(23.5.2、3)
植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成型品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・

・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示　・

工法　(23.5.4)
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）
・適用しない
支柱　・設置する（形式　・図示　・　）
かん水装置　・設置する（種類　・図示　・　）

24 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定

1 室内濃度の測定

対象化学物質	判定基準	備考
ホルムアルデヒド	100μg/m³（0.08ppm）以下	※厚生労働省が定める指針値、単位の換算は２５℃
トルエン	260μg/m³（0.07ppm）以下	
キシレン	200μg/m³（0.05ppm）以下	
エチルベンゼン	3,800μg/m³（0.88ppm）以下	
スチレン	220μg/m³（0.05ppm）以下	
パラジクロロベンゼン	240μg/m³（0.04ppm）以下	

測定方法
採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。
①検体の採取方法　※吸引方式（アクティブ法）又は拡散方式（パッシブ法）
・吸引方式（アクティブ法）　・拡散方式（パッシブ法）
②アクティブ法
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。
③パッシブ法
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。
測定対象室　※監督員の指定する室　・洗濯室

測定箇所数　※（ 3 ）箇所　・図示
測定時期　※工事完了後
報告書　※２部　・

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社　サトウ設計　佐藤　啓智

建築工事，電気工事，機械工事標準施工区分表

※この表は、設計図等で示される一般的工事範囲を補足するもので、関連工事との取合い部分についてその施工分担を示すものである。

項　　目	内　　容	建築	電気	機械	別途	備　　考
1　仮設	（1）仮囲い	○				
	（2）共通足場	○				外部足場等
	（3）作業足場	○	○	○		各工事で使用するもの
	（4）材料置場等	○	○	○		
	（5）監督員事務所	○				
	（6）工事用の水及び電力等	○	○	○		
	（7）材料場外処分	○	○	○		
2　ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	（1）貫通口のスリーブ材、取付け及び空隙充填	○	○	○		
	（2）ダクト及びガラリ等補強を要する型枠材及び取付け	○		○		
	（3）補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○		
	（4）衛生器具（和風大便器）取付開口箱入れ			○		
	（5）コンクリート壁埋込消火栓開口箱入れ			○		
	（6）コンクリート壁埋込型盤類の開口箱入れ		○	○		
	（7）貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○		
	（8）貫通孔・開口部の補強	○				在来は建築工事、既製品は各工事スリーブは各工事
	（9）躯体貫通部分の穴埋め・防水処理	○	○	○		
	（10）各種穴あけ補修後の仕上げ	○				
3　設備機器の基礎	（1）建築設計図に記入のあるもの	○				
	（2）屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○		
	（3）屋外・屋上の基礎	○				
	（4）屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの		○	○		
	（5）分電盤・動力盤基礎	○				
	（6）機器取付け用アンカー・鋼製架台	○	○	○		キュービクル架台は建築工事
4　各水槽、ピット及び連通管その他	（1）トラフ・ピット類（蓋を含む）	○				
	（2）湧水・汚水ピット・コンクリート造各種水槽及び釜場	○				
	（3）同上用防水・マンホール・タラップ等	○				
	（4）床下配管ピットの人通口、通気口、排水口	○				
	（5）電気関係配管ピット及び蓋・点検口	○				
5　軽鉄天井・壁下地	（1）埋込照明、スピーカー等の天井壁切込及び補強	○	○			切込は電気工事、補強は建築工事
	（2）吹出口、吸込口等天井壁切込及び補強	○		○		
	（3）壁付換気扇穴明け		○			
	（4）開口部位置墨出し及び開口寸法	○	○	○		
	（5）天井点検口の位置墨出し及び開口補強	○				
	（6）スイッチ、コンセント等小開口の切込		○	○		
	（7）壁付け換気扇（取付け枠共）		○			本体は電気工事
	（8）床コンセント取付、電話口等の開口切込		○			
6　つりボルト及びインサート	（1）天井用	○				
	（2）設備機器・器具・配管・配線用		○	○		
7　外壁まわり	（1）ウェザーカバー、ベンドキャップ			○		外壁取合いシーリングは建築工事
	（2）外部貫通部シール		○	○		
8　給湯室	（1）ミニキッチン・吊戸棚	○				
	（2）給排水、換気ダクト、配管接続			○		
9　便所まわり洗面所・手洗い	（1）洗面カウンター、洗面ボウル	○				
	（2）鏡	○				多目的便所は設備工事
	（3）衛生器具・水栓器具・電気温水器	○		○		下地補強は建築工事
	（4）手すり	○		○		下地補強は建築工事
	（5）ベビーチェア（下地補強を含む）	○				
	（6）ベビーシート（下地補強を含む）	○				
	（7）紙巻器	○		○		下地補強は建築工事
	（8）身障者用便所（便器、ｵｽﾄﾒｲﾄ、手摺、鏡）	○		○		下地補強は建築工事
10　防火防煙スクリーンスチールシャッターまわり	（1）ｽｸﾘｰﾝ・ｼｬｯﾀｰ本体・開閉装置	○				
	（2）ｽｸﾘｰﾝ・ｼｬﾀｰの煙感知器及び、配管・配線		○			
	（3）ｽｸﾘｰﾝ・ｼｬｯﾀｰの手元電源ｽｲｯﾁ	○				
	（4）ｽｸﾘｰﾝ・ｼｬｯﾀｰからｾﾝｻｰ（付属ｽｲｯﾁ）への配管・配線	○				
	（5）ｽｸﾘｰﾝ・ｼｬｯﾀｰ本体までの配管・配線		○			

項　　目	内　　容	建築	電気	機械	別途	備　　考
11　各排水溝及び配管トレンチ	（1）屋内各排水溝及び蓋	○				
	（2）排水溝内の排水目皿及び配管			○		
	（3）排水溝端部集水桝及び蓋	○				
12　改め口及び点検口	（1）天井点検口	○				設置位置は各工事間で調整すること
	（2）各シャフト点検口	○				
	（3）床下点検口	○				
	（4）化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	○				
13　排水金物	（1）床排水金物			○		
	（2）造付流しの排水金物	○		○		
	（3）既製ステンレス流しの排水金物	○				
	（4）グレーチング	○				
	（5）屋外プール等　床排水目皿			○		
14　雨水排水	（1）ルーフドレーン取付	○				
	（2）地盤までの一般雨樋（竪樋等）	○				
	（3）雨水第一桝			○		
	（4）GL+100より雨水第一桝までの接続及び掃除口			○		
	（5）Ｕ形側溝及びこれに接続する溜桝	○				
	（6）上記に接続する配管			○		
	（7）建物外雨水オリフィス桝および蓋等	○				
	（8）屋外雨水排水設備			○		
	（9）桝及び桝蓋			○		
	（10）化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	○				
15　屋外雑排水・屋外汚水排水	（1）屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○		
	（2）桝及び桝蓋			○		
	（3）化粧マンホール上蓋の表面仕上げ	○				
16　電気配線・配管	（1）機器付属の制御盤以降の配管・配線（接地線共）			○		２次側
	（2）機器付属の制御盤への電源供給配管・配線		○			１次側
	（3）機器と付属操作スイッチの渡り配管・配線			○		
17　ガラリ等	（1）外壁取付ガラリ	○				ダクト接続をするものはアングル共
	（2）同上防火ダンパー取付	○		○		ダクト接続をするものは機械工事
	（3）ドアガラリ	○				
	（4）コンロ台用の既製フード			○		レンジフードの場合
18　動力、制御	（1）一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線		○			
	（2）空冷ヒートポンプパッケージエアコン（その他ﾌｧﾝ含む）					
	本体			○		
	一次側電源送り		○			結線は電気工事
	室外機アース配線		○			結線共、結線は電気工事
	室内機一次側電源送り		○			結線は電気工事
	室内機アース配線		○			結線共、結線は電気工事
	室外機～室内機～室内機連絡配線			○		結線共
	室内機～リモコン連絡配線			○		
	室内機～リモコン配管			○		
	リモコン取り付け（スイッチ）			○		結線共
	（3）ガス漏れ警報及び配管、配線		○			
	（4）機械警備用空配管		○			
19　防災関係	（1）自動火災報知器		○			
	（2）煙感知器連動の防火戸のレリーズ		○			
	（3）消火器スタンド、壁埋込消火器ボックス	○				
	（4）消火栓一体消火器ボックス（壁埋型）			○		
	（5）消火器本体				○	

項　　目	内　　容	建築	電気	機械	別途	備　　考
20　昇降機	（1）昇降路その他建物構造に関する一切	○	○			中間ビームは電気工事
	（2）ＲＣ造の梁、壁、床貫通スリーブ工事		○			
	（3）各階出入口の三方枠、押しボタン等の穴あけ工事	○	○			
	（4）ピット内防水工事	○				
	（5）昇降路工事用足場組立工事	○				
	（6）動力、照明電源のＥＶ制御盤への一次側接続工事		○			
	（7）第三種接地線の引込み工事		○			
	（8）ピット内、機械室内の保守用コンセント		○			
	（9）昇降路頂部煙感知器設備工事		○			
	（10）一般、非常用スピーカー入力の配管、配線工事		○			
	（11）昇降機外部への連絡用インターホンの配管、配線工事		○			
	（12）三方枠用梁出し、枠回り仕上げ前までの処理工事		○			
	（13）三方枠、出入口、敷居、インジケーター、押しボタン		○			
	（14）貫通穴廻りの空隙充填、補修工事		○			
	（15）昇降機本体		○			
	（16）火災管制用火災信号無電Ａ接点		○			
	（17）ＥＶ制御盤からＥＶ監視盤までの配管、配線工事		○			
	（18）昇降機用点検ボックス		○			
21　天井換気扇	（1）換気扇本体及び取付			○		
	（2）スイッチ		○			24Hスイッチは機械設備支給品
	（3）換気扇取付枠及びフードカバー			○		
22　厨房設備	（1）厨房機器本体			○		
	（2）同上据付			○		
	（3）同上機器への給排水接続			○		
	（4）同上機器への一次側電源供給		○			接続は電気工事
	（5）フード類			○		
	（6）グレーチング、側溝、桝、床壁天井仕上	○				
23　各種機器等	（1）備品機器の搬入据付後の配管接続			○		
	（2）洗濯機防水パン（トラップ付）			○		
	（3）鏡			○		
	（5）ステンレス流し台、コンロ台			○		給排水接続は機械工事
	（6）ガス湯沸器、電気湯沸器			○		
	（7）吊戸棚	○				
24　太陽光発電ﾊﾟﾈﾙ工事	（1）太陽光発電パネル本体、制御盤、表示パネル		○			
	（2）一次側電源工事　＋　屋内配管		○			
	（3）下地鉄骨架台		○			
	（4）上記鉄骨架台取付下地	○				
25　外構工事関連	（1）駐輪場上屋・ごみ置場建築工事	○				
	（2）同上照明等電気設備工事	○	○			駐輪場照明機器は建築工事
	（3）各種設備基礎（コンクリート）	○				建築設計図に記載のあるもの
	（4）外灯設備工事		○			
	（5）舗装、囲障	○				
	（6）門扉新設	○				
	（7）植栽工事				○	
26　解体工事関連	（1）内部仕上げ・下地・間仕切り壁	○				
	（2）洗面台、手洗い、流し台	○				
	（3）便器・ＳＫ			○		
	（4）建具	○				
	（5）空調・換気設備			○		
	（6）電気設備機器		○			
	（7）昇降機		○			
27　負担金等	（1）本設の水道・ガス・電力の負担金		○	○	○	光ケーブル・電話回線関連別途
	（2）引き渡しまでの水道、ガス、電気の基本料金及び使用料金	○	○	○		
	（3）エレベータ計画通知手続き		○			

決裁欄

川口市 -8.8.13 建築課

TITLE　新郷分署改築工事

P. DAYS

PLAN	DRAW	SIGN

工事区分表

SCALE　A3:Non Scale　A1:Non Scale

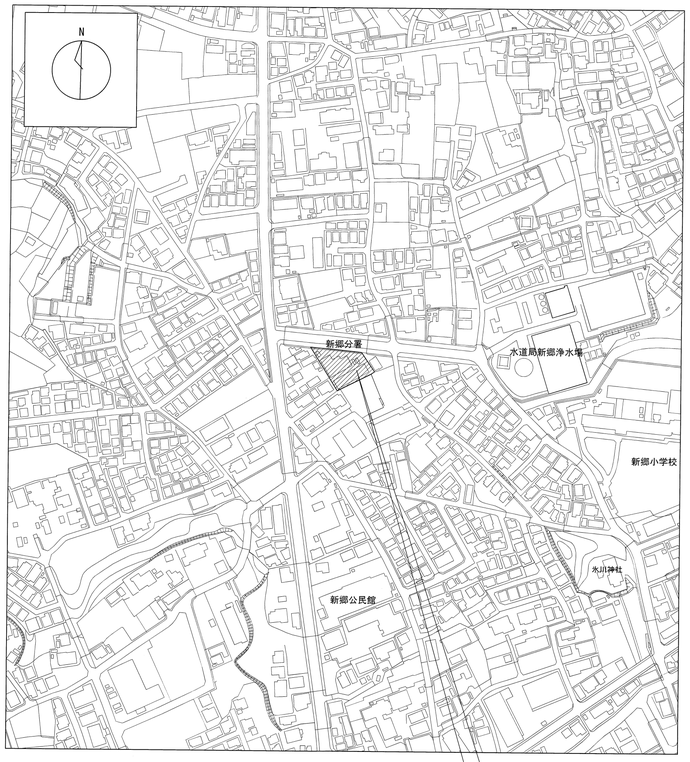
NO.　A-007

TOTAL　NO

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智

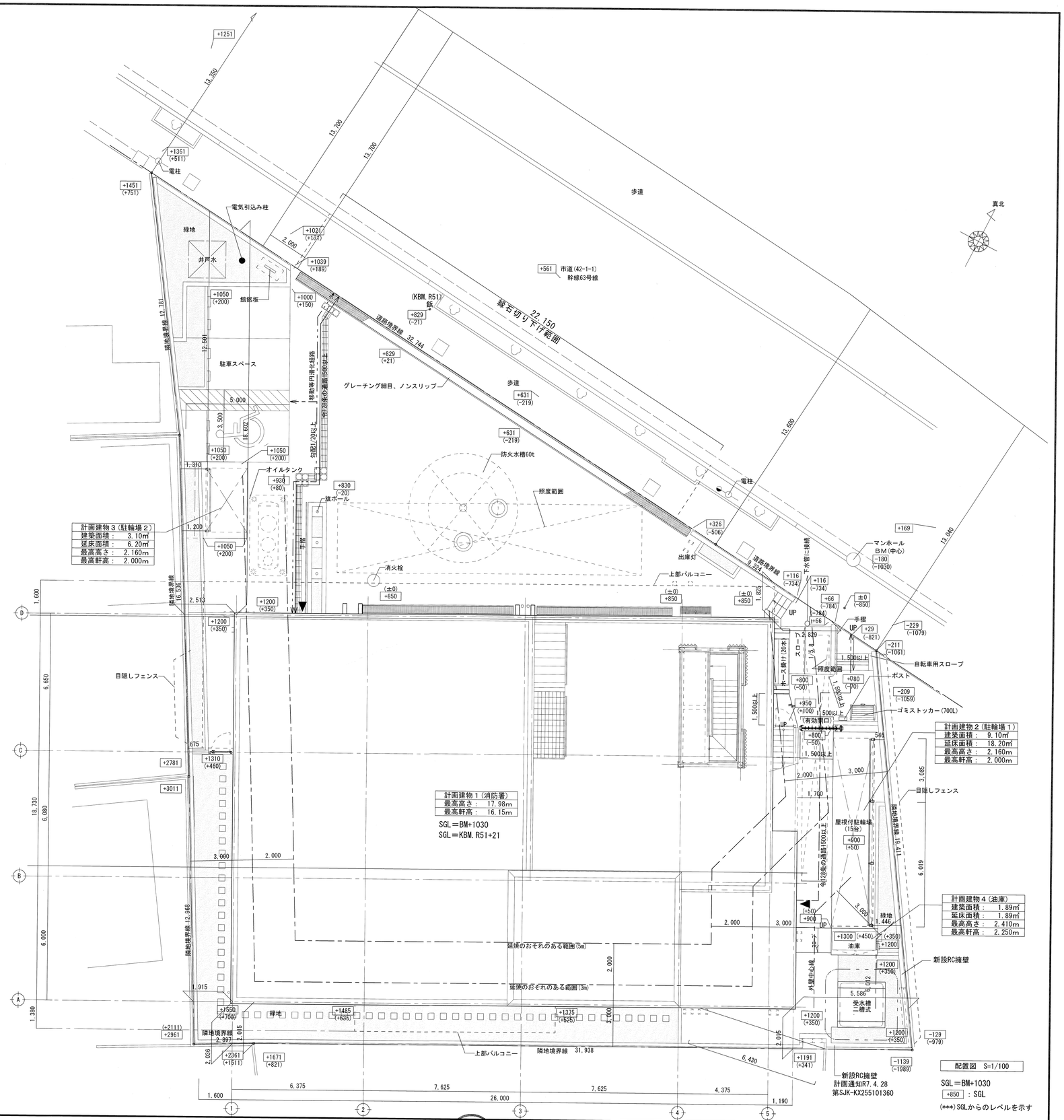
計画概要

建築主	川口市長　岡村ゆり子				
工事名称	新郷分署改築工事				
工事場所	地名地番	埼玉県川口市大字東本郷字小原1283-3、-4、-18			
	住居表示	-			
工事種別	■新築　□増築(□既存　□棟別)　□改築　□移転　□用途変更 □大規模修繕　□大規模模様替				
都市計画区域	■都市計画区域内（■市街化区域　□市街化調整区域　□区域区分日設定） □準都市計画区域内　□都市計画区域及び準都市計画区域外				
防火指定	□防火地域　□準防火地域　■指定なし（22条区域）				
その他の区域	■建築基準法第22条区域　■下水道処理区域　■景観計画区域 □				
敷地面積	1036.83㎡				
用途地域等	第一種住居地域				
建蔽率	60%				
容積率	200%				
主要用途	建築基準法				
	消防法	(15項)事務所等			
建築面積		申請部分	申請以外部分	合　計	備　考
	建築面積	539.40㎡	0㎡	539.40㎡	
	建ぺい率	52.03%			
延べ面積		申請部分	申請以外部分	合　計	備　考
	建築物全体	1441.60㎡	0㎡	1441.60㎡	
	容積対象	1211.27㎡	0㎡	1211.27㎡	
	容 積 率	116.82%			
建築物の数	申請部分	4棟	申請以外部分	0棟	
建築物の高さ等		申請部分	申請以外部分	備　考	
	最高高さ	17.98m			
	最高の軒の高さ	16.15m			
	階　数　地　下	0	0		
	階　数　地　上	5	0		
	構　造	ＲＣ造			
	耐火区分	耐火建築物			
	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無：□有　■無				
	適用がある場合の特例の区分：無し □道路高さ制限不適用　□隣地高さ制限不適用　□北側高さ制限不適用				



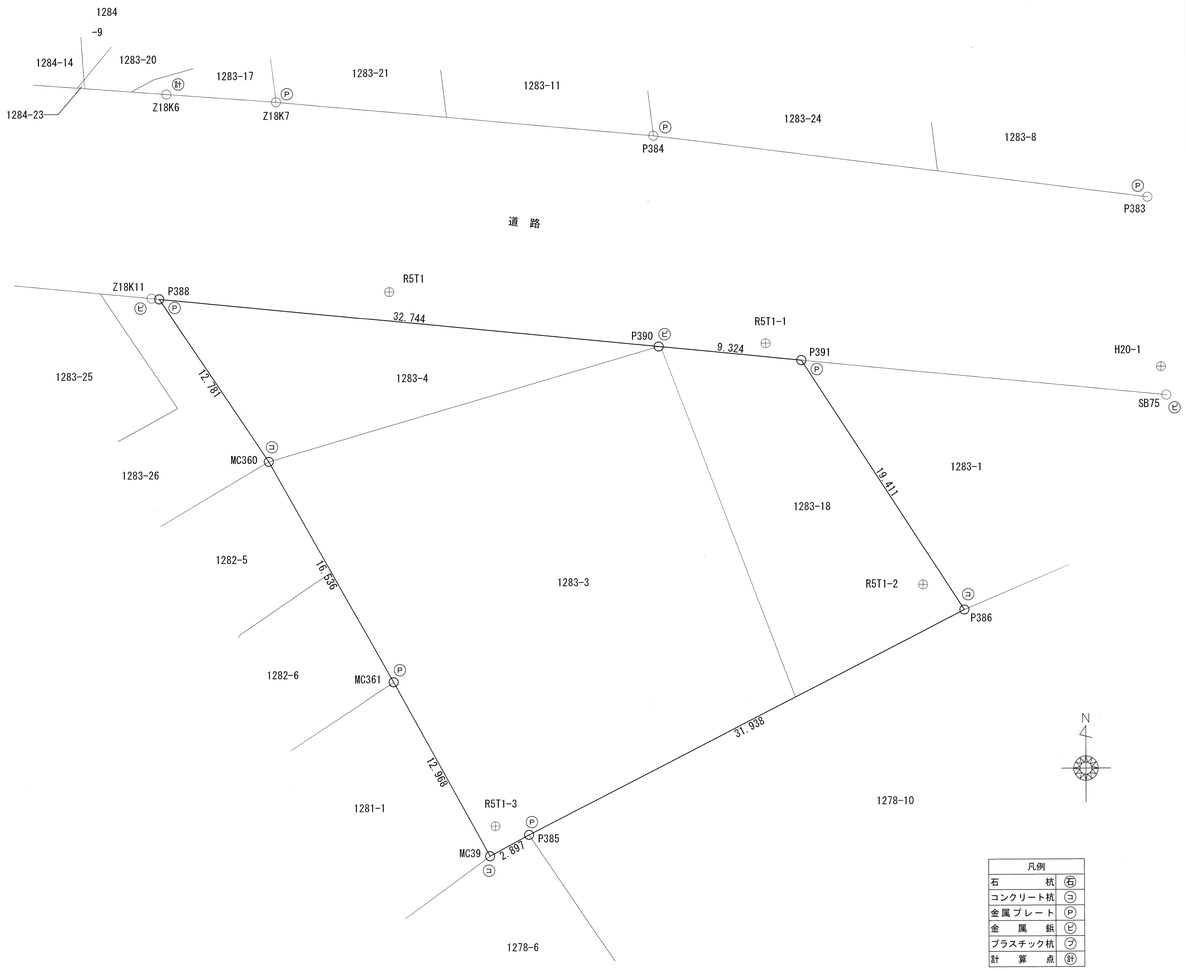
計画地：埼玉県川口市大字東本郷1283-3(住居表示)

案内図　S=1/2500



決裁欄	川口市 ~8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事			NO. A-008
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	CONTENT 計画概要・案内図・配置図
						SCALE A3:1/200 A1:1/100
						一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智
						TOTAL NO.

敷地求積図



凡例	
石　　杭	(石)
コンクリート杭	(コ)
金属プレート	(P)
金　属　鋲	(ビ)
プラスチック杭	(プ)
計　算　点	(計)

敷地求積図　S=1/200

基本三角点等の名称及び座標値(世界測地系(測地成果2011)IX系)

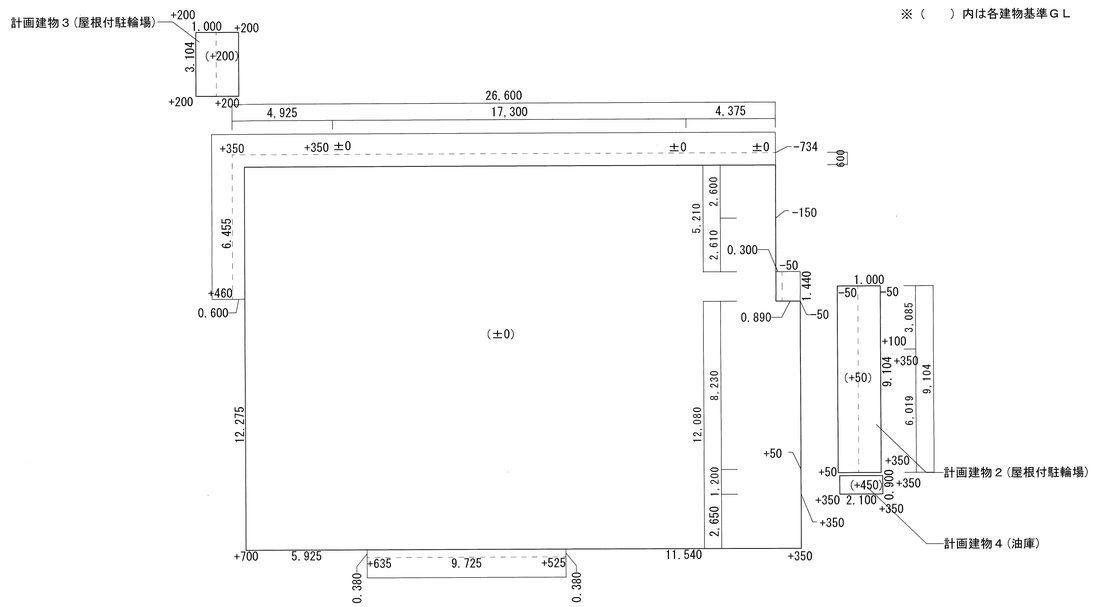
名称			X座標	Y座標
川口市基準点	H20-1	(金属鋲)	-18968.198	-6388.796
補助基準点	R5T1	(金属鋲)	-18963.119	-6439.086
補助基準点	R5T1-1	(金属鋲)	-18966.580	-6414.572
補助基準点	R5T1-2	(金属鋲)	-18982.347	-6404.396
補助基準点	R5T1-3	(金属鋲)	-18997.984	-6432.324

地　番	1283-3、-4、-18			
測　点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距　離
P388	-18963.515	-6454.114	-47644.269548	32.744
P390	-18966.761	-6421.531	26784.205801	9.324
P391	-18967.686	-6412.252	110483.101960	19.411
P386	-18983.991	-6401.719	197659.475844	31.938
P385	-18998.562	-6430.140	102541.442580	2.897
MC39	-18999.938	-6432.690	-64275.438480	12.968
MC361	-18988.570	-6438.932	-166092.250940	16.536
MC360	-18974.143	-6447.014	-161529.935770	12.781
		倍面積	-2073.668553	
		面　積	1036.8342765	
		地　積	1036.83　㎡	

道路境界点座標一覧表

測点名	X座標	Y座標
Z18K6	-18950.159	-6453.599
Z18K7	-18950.700	-6446.445
P384	-18953.002	-6421.827
P383	-18957.133	-6389.641
SB75	-18970.057	-6388.454
P391	-18967.686	-6412.252
P390	-18966.761	-6421.531
P388	-18963.515	-6454.114
Z18K11	-18963.466	-6454.608

平均地盤算定図

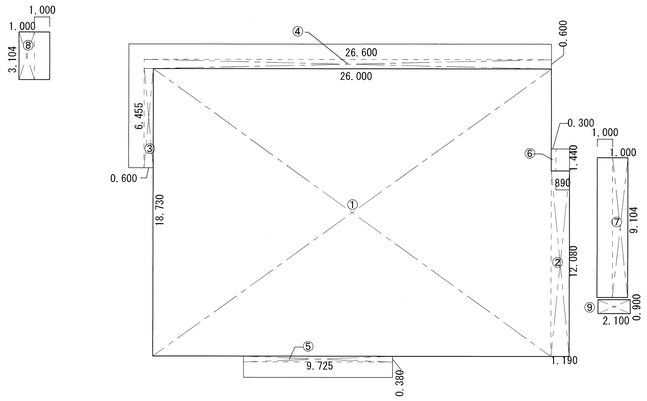


平均地盤算定図　S=1/150

計画建物１　平均GL	周長：26.600+0.600+5.210+0.300+1.440+0.890+12.080+11.540+0.380+9.725+0.380+5.925+12.275+0.600+6.455＝94.400 見付面積：【0.4925*0.35】-【(0.734+0.15)×2.6／2】-【(0.15+0.05)×2.61／2】-【(0.33+1.440+0.890)*0.05】+【(0.05-0.05)*8.23*1/2】 +【0.05+0.35)*1.2*1/2】【2.65*0.35】+【(0.35+0.525)*11.540*1/2】+【0.380*0.525】+【(0.525+0.635)*9.725*1/2】+【0.380*0.635】 +【(0.635+0.700)*5.925*1/2】+【(0.70+0.46)*12.275*1/2】+【0.600*0.46】+【(0.46+0.350)*6.455*1/2】 ＝0.172375-1.1492-0.261-0.133+0+0.240+0.9275+5.048+0.199+5.6405+0.2413+3.9549375+7.1195+0.276+2.614275 ＝24.6714　（日影用・最高高さ用） 平均GL：24.6714÷94.400＝0.261≒0.200・・・・・SGL+0.200＝平均GLとする。　（最高高さ用）	
計画建物２　平均GL	周長：1.000+9.104+1.000+9.104＝20.208 見付面積：-1.000*0.05+9.104*(0.05-0.05)／2+1.000*0.45+6.019*0.35 -3.085*0.05＝2.3524 （日影用）	（最高高さ用） 見付面積：1.000*(-0.10)+9.104*(-0.10)／2+1.000*0.40+6.019*0.30 +3.085×(-0.10)＝1.342 平均GL：1.342÷20.208＝0.066・・・・・・±0＝平均GLとする。
計画建物３　平均GL	周長：1.000+3.104+1.000+3.104＝8.208 見付面積：(1.000+3.104+1.000+3.104)*0.200＝1.6416 （日影用）	（最高高さ用） 見付面積：0
計画建物４　平均GL	周長：2.100+0.900+2.100+0.900＝6.000 見付面積：2.100×0.05+0.900*0.35+(0.05+0.35)*0.9/2+2.100*0.35＝1.325 （日影用）	（最高高さ用） 見付面積：2.100×0.4+0.900*0.10+(0.40+0.10)*0.9/2+2.100*0.10＝1.365 平均GL：1.365÷ 6.000＝0.227・・・・・・-0.250＝平均GLとする。
日影図用平均GL	周長：94.400+20.208+8.208+6.000＝128.816 見付面積：24.6714+2.3524+1.6416+1.335＝30.0004 平均GL：30.0004÷128.816＝0.232≒0.200・・・SGL+0.200＝日影用平均GLとする。	

決裁欄　川口市 -8.8.13 建築課

TITLE	新郷分署改築工事				CONTENT	敷地求積図・平均地盤算定図	SCALE	NO.
P. DAYS		PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号		A3:1/300,1/400 A1:1/150,1/200	A-009
					有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智		TOTAL NO	



建築面積求積図　S=1/200

計画建物１（消防署）建築面積

符号	計　算　式	面　積
①	26.000×18.730	486.98000
②	1.190×12.080	14.37520
③	0.600×6.455	3.87300
④	26.600×0.600	15.96000
⑤	9.725×0.380	3.69550
⑥	0.300×1.440	0.43200
合　計		525.31 ㎡

計画建物２（駐輪場１）建築面積

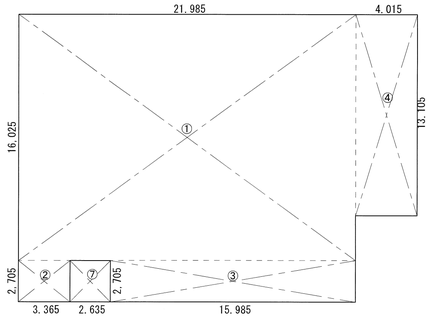
符号	計　算　式	面　積
⑦	1.000×9.104	9.10400
合　計		9.10 ㎡

計画建物３（駐輪場２）建築面積

符号	計　算　式	面　積
⑧	1.000×3.104	3.104
合　計		3.10 ㎡

計画建物４（油庫）建築面積

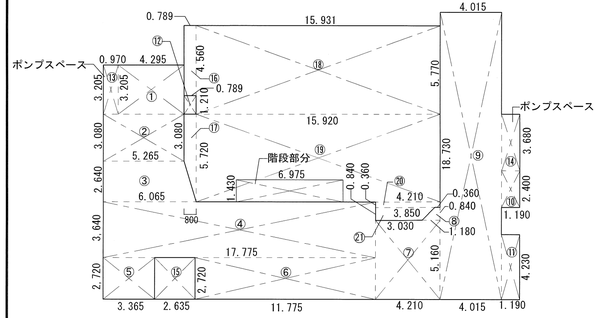
符号	計　算　式	面　積
⑨	2.100×0.900	1.89000
合　計		1.89 ㎡



基準法3階求積図　S=1/200

２階床面積（基準法：３階）

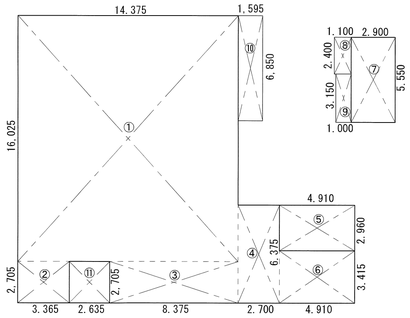
符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	21.985×16.025	352.309625	A	
②	3.365×2.705	9.102325	A	
③	15.985×2.705	43.239425	A	
④	4.015×13.105	52.616575	A	
				457.27
⑦	2.635×2.705	7.127675	C	7.12
合　計				464.39 ㎡



基準法1階求積図　S=1/200

１階床面積（基準法：１階）

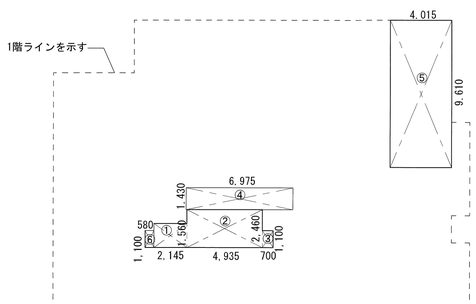
符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	4.295×3.205	13.765475	A	
②	5.265×3.080	16.216200	A	
③	(6.065+5.265)×2.640×1/2	14.955600	A	
④	17.775×3.640	64.701000	A	
⑤	3.365×2.720	9.152800	A	
⑥	11.775×2.720	32.028000	A	
⑦	4.210×5.160	21.723600	A	
⑧	(1.180+0.360)×0.840×1/2	0.646800	A	
⑨	4.015×18.730	75.200950	A	
⑩	1.190×2.400	2.856000	A	
⑪	1.190×4.230	5.033700	A	
⑫	0.789×1.210	0.954690	A	
⑬	0.970×3.205	3.108850	A	
⑭	1.190×3.680	4.379200	A	
階段	6.975×1.430	9.974250	A	274.70
⑮	2.635×2.720	7.167200	C	7.16
⑯	0.789×4.560	3.597840	B	
⑰	(3.080+5.720)×0.800×1/2	3.520000	B	
⑱	15.931×5.770	91.921870	B	
⑲	15.920×5.720−階段	81.088150	B	
⑳	4.210×0.360	1.51560	B	
㉑	(3.030+3.850)×0.840×1/2	2.88960	B	
				184.53
合　計				466.39 ㎡



基準法4階求積図　S=1/200

３階床面積（基準法：４階）

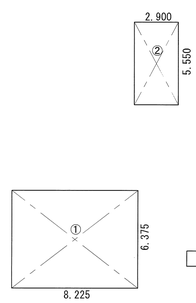
符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	14.375×16.025	230.359375	A	
②	3.365×2.705	9.102325	A	
③	8.375×2.705	22.654375	A	
④	2.700×6.375	17.212500	A	
⑤	4.910×2.960	14.533600	A	
⑥	4.910×3.415	16.767650	A	
⑦	2.900×5.550	16.095000	A	
⑧	1.100×2.400	2.640000	A	
⑨	1.000×3.150	3.150000	A	
⑩	1.595×6.850	10.92575	A	343.44
⑪	2.635×2.705	7.127675	C	7.12
合　計				350.56 ㎡



基準法2階求積図　S=1/200

Ｍ２階床面積（基準法：２階）

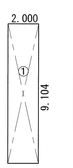
符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	2.145×1.560	3.346200	A	
②	4.935×2.460	12.140100	A	
③	0.700×1.100	0.770000	A	
④	6.975×1.430	9.974250	A	65.45
⑤	4.015×9.610	38.584150	A	
⑥	0.58×1.100	0.638000	A	
合　計				65.45 ㎡



基準法5階求積図　S=1/200

ＲＦ階床面積（基準法：５階）

符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	8.225×6.375	52.434375	A	
②	2.900×5.550	16.095000	A	68.52
合　計				68.52 ㎡



駐輪場１求積図　S=1/200

駐輪場１　床面積

符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	2.000×9.104	18.20800	B	18.20
合　計				18.20 ㎡



駐輪場２求積図　S=1/200

駐輪場２　床面積

符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	2.000×3.104	6.20800	B	6.20
合　計				6.20 ㎡



油庫求積図　S=1/200

油庫　床面積

符号	計　算　式	面　積	部位	部位別面積
①	2.100×0.900	1.89000	A	1.89
合　計				1.89 ㎡

	消防署				駐輪場１	駐輪場２	油　庫	計
	A:事務所	B：車庫	C：昇降機					
1階床面積	274.70㎡	184.53㎡	7.16㎡	466.39㎡	18.20㎡	6.20㎡	1.89㎡	492.68㎡
2階床面積	65.45㎡			65.45㎡				65.45㎡
3階床面積	457.27㎡		7.12㎡	464.39㎡				464.39㎡
4階床面積	343.44㎡		7.12㎡	350.56㎡				350.56㎡
5階床面積	68.524㎡			68.52㎡				68.52㎡
延床面積	1209.38㎡	184.53㎡	21.40㎡	1415.31㎡	18.20㎡	6.20㎡	1.89㎡	1441.60㎡
容積対象床面積	1209.38㎡			1209.38㎡			1.89㎡	1211.27㎡
建築面積				525.31㎡	9.10㎡	3.10㎡	1.89㎡	539.40㎡
建蔽率	539.40÷1036.83×100＝ 52.023＜60							52.03%
容積率	1211.27÷1036.83×100＝116.8244＜200							116.82%
敷地面積								1036.83㎡

決裁欄

川口市 -8.8.13 建築課

TITLE 新郷分署改築工事

P. DAYS

PLAN	DRAW	SIGN

CONTENT 面積表

SCALE A3:1/400 A1:1/200

NO. A-010

TOTAL NO

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智

外部仕上表

部位		仕上	部位		仕上	部位		仕上
屋根	屋上（PH）	シート防水　増し打ちコンクリート金ゴテ仕上　t=50～	外壁	外　壁	コンクリート打放し複層塗材ＲＥ	訓練用階段		鉄骨造　溶融亜鉛メッキ
		パラペット立上り：シート防水　アルミ製（既製品）金物押え			コンクリート化粧打放しの上、フッソ樹脂クリアー仕上げ			手摺：溶融亜鉛メッキ
		笠木：ウレタン塗膜防水			コンクリート化粧型枠打放し補修 DP塗装			踏面：溶接金網　防水モルタル金鏝押え t＝40
		鋳鉄製横引きドレーン　訓練用SUSパイプ			コンクリート打放しDP塗装			壁：有孔折板ルーバー
		署名ヘリサイン：ウレタン塗装			放水壁面：超速硬化ｳﾚﾀﾝ防水　放水壁(FRPｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ)			訓練用バルコニー：デッキプレートの上コンクリート金鏝ｔ80
	屋上（4階） 物干場（2階）	押さえコンクリート金ゴテ仕上　t=80～　（溶接金網:100×100×6φ）伸縮目地W25　@3000		基礎巾木	外壁仕上げと同じ			訓練用屋根：折板
		アスファルト防水（A1-1工法、断熱材：ポリスチレンフォームt=50　3種bｽﾀｲﾝ層付）				訓練用屋根		ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.4たて馳葺き
		排水溝：防水モルタル金ゴテ　鋳鉄製横引きドレーン		開口部	アルミニウム製建具			洋瓦葺
		パラペット立上り：ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水　アルミ製（既製品）金物押え　設備基礎・ハト小屋：押出成形セメント板t=15			鋼製建具			軒裏・側面：コンクリート化粧打放しの上、フッソ樹脂クリアー仕上げ
		笠木：ウレタン塗膜防水　物干金物：川口技研 LP-70(4ヶ所)又は同等品			スチールオーバードア、スチールシャッター	軒樋・竪樋		竪樋：カラー硬質塩ビ製100φ（ステンレス製支持金物共）
	屋上（3階） （訓練スペース） （放水スペース）	押さえコンクリート金ゴテ仕上　t=200～　（溶接金網:100×100×6φ）伸縮目地W25　@3000	庇	コンクリート庇	庇上：コンクリート金ゴテ　ウレタン塗膜防水X-2工法			竪樋：SUS製100φ（ステンレス製支持金物共）
		アスファルト防水（A1-1工法、断熱材：ポリスチレンフォームt=50　3種bｽﾀｲﾝ層付）			庇側面：コンクリート打放し複層塗材ＲＥ	化粧材	ルーバー	アルミルーバー（指定色塗装：木調）　30×50（バルコニー部）
		排水溝：防水モルタル金ゴテ　鋳鉄製横引きドレーン			庇裏：コンクリート打放しの上、外装薄塗材E			アルミルーバー（指定色塗装：木調）　50×100（バルコニー部）
		パラペット立上り：ｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水　アルミ製（既製品）金物押え		アルミ庇	詳細図による	消火器ＢＯＸ		消火器BOX(ｽﾃﾝﾚｽ製・扉付き・235×170×600程度）（埋め込みﾀｲﾌﾟ6ヵ所・露出ﾀｲﾌﾟ7）13ヶ所　固定設置
		笠木：ウレタン塗膜防水	外部階段	屋外階段（1）	高耐久ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（立上りH=300共）押えｺﾝｸﾘｰﾄt80、防水モルタル金鏝、ノンスリップ金物			消火器スタンド　1ヶ所　固定設置
		訓練用ポール70本			手すり壁・笠木：コンクリート打放しの上、複層塗材ＲＥ			消火器：ABC粉末10型（別途工事）
	バルコニー	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ごて下地＋ｳﾚﾀﾝ塗膜防水　立上げH=100			手摺：アルミ製耐候性樹脂被膜38φ、段裏：コンクリート打放し外装薄塗材E	オイルタンク躯体		オイルタンク（電気工事）
		側溝：防水ﾓﾙﾀﾙ金ごてW=100　ウレタン塗膜防水立上げH=100		屋外階段（2）	ﾓﾙﾀﾙ金鏝、ノンスリップタイル			ベース、側壁、上部スラブ：コンクリート製
		南側　手摺り壁：コンクリート打放しの上、複層塗材ＲＥ			手すり壁：複層塗材ＲＥ	ホース乾燥塔		ホースリフターＦＨ－１２０型または同等品
		北側　SUS手摺　H=150			手摺：アルミ製耐候性樹脂被膜38φ、段裏：コンクリート化粧打放しフッソ樹脂クリアー	他	ポスト	ポスト（杉田エース　MB35S　又は同等品）
		笠木：コンクリート金ゴテ　複層塗材ＲＥ			目隠しルーバー			
		軒天：外装薄塗材E　車庫前：着色アルミPL-2.0 、ケイカル板 t=6.0 EP	放水室	床	超速硬化ｳﾚﾀﾝ防水、有孔鋼製床　下地材亜鉛ﾒｯｷ　立上り：超速硬化ｳﾚﾀﾝ防水		ポスト	外壁面は増し打ち20mmとする。 内壁面コンクリート仕上げ面は増し打ち10mmとする。
	ポーチ	床：モルタル金ゴテ下地 300角磁器質タイル張		壁	コンクリート化粧打放しの上、フッソ樹脂クリアー仕上げ		緑地	別途工事
		壁：コンクリート打放し複層塗材ＲＥ　柱部分：コンクリート打放しDP塗装			放水壁面：超速硬化ｳﾚﾀﾝ防水			
		軒天：アルミスパンドレル(指定色)		天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し			
					放水壁(FRPｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ)、リングアンカー			

仕上略語凡例

略　語	仕上げ材等	略　語	仕上げ材等	略　語	仕上げ材等
RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	GB-R	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	RW	ﾛｯｸｳｰﾙｶﾞﾗｽｸﾛｽ張
CB	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み	GB-NC	不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(化粧無し:下張り用)	GW	ｸﾞﾗｽｳｰﾙｶﾞﾗｽｸﾛｽ張
LGS	軽量鉄骨壁下地・軽量鉄骨天井下地	GB-NC(T)	不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(化粧無し:下張り用)	DP-F	ふっ素樹脂耐候性塗料塗り
SUS	ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)	GB-D	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗
FB	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張	GB-D(木目)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(木目)	EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗
FS	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	GB-S	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	EP-G	艶あり水性ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ(半艶)
CT	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(半硬質)	GB-F	強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	GP	有光沢合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗
CTS	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(軟質)	GB-R-H	普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	FP	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散型塗料塗
HT	ﾎﾓｼﾞﾆｱﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	FK	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	CE	塩化ｺﾞﾑ系塗料塗
VT(E)	帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	化粧ｹｲｶﾙ板	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾌｧｰｽ塗
VB	ﾋﾞﾆﾙ巾木	穴あきｹｲｶﾙ板	吸音用穴あき無石綿ｾﾒﾝﾄけい酸ｶﾙｼｳﾑ板	CL	ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗
WB	木製巾木	DR	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	OS	油性ｽﾃｲﾝ塗
MB	ﾓﾙﾀﾙ巾木	DR(C)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ) （ソーラトンカラーシステム）	RP	ﾘﾌﾚｯｼｭﾍﾟｲﾝﾄ
SGP	白ｶﾞｽ管			VE	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗
VP	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	DR(凹凸)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(凹凸ﾀｲﾌﾟ)	ZC	低汚染ｼﾘｺﾝ樹脂多彩模様塗(ｼﾞﾗｺｰﾄ)
VU	ｶﾗｰ硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	DR(軒天)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(軒天井用:ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	VP	塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂塗
ACｽﾘｰﾌﾞ	設備機器用ｽﾘｰﾌﾞ	DR(軒天凹凸)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(軒天井用:凹凸ﾀｲﾌﾟ)	WP	木材保護塗料塗
給気口	換気用ｽﾘｰﾌﾞ	PF板	押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	2-FUC	常温乾燥型フッ素樹脂ワニス（2液形）

下地略語凡例

略　語	仕上げ材等
C	ｺﾝｸﾘｰﾄ下地、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ下地
	ALC下地、押出成形ｾﾒﾝﾄ板下地
S	軽量鉄骨下地
W	木下地
M	ﾓﾙﾀﾙ下地
B	ﾎﾞｰﾄﾞ類
PF	発泡ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床下地
OA	OAﾌﾛｱ
U	ﾕﾆｯﾄﾌﾛｱ(乾式遮音二重床工法用床下地材)
	支持ﾎﾞﾙﾄ+ﾊﾟｰﾁｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt=20+捨貼合板t=12
	（水がかり範囲：ﾊﾟﾗﾌｨﾝ含浸）(H寸法は図示による。)
WP	内装ﾊﾟﾈﾙ
HW	硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板
CB	ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
BB	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ

耐火リスト

部　位	耐火仕様
屋根	鉄筋コンクリート造（0.5H耐火：告示1399号）
床	鉄筋コンクリート7cm以上（1H耐火：告示1399号）
	ＡＬＣ　10cm以上（1H耐火：告示1399号）
壁	鉄筋コンクリート10cm以上（1H・2H耐火：告示1399号）
柱	鉄筋コンクリート（1H・2H耐火：告示1399号）
	鉄骨柱：ロックウール吹付ｔ25（1H耐火：ＦＰ０６０ＣＮ－９４６０）
梁	鉄筋コンクリート（1H・2H耐火：告示1399号）
	鉄骨梁：ケイ酸カウシウム板ｔ35（2H耐火：ＦＰ１２０ＢＮ－９４０）
階段	鉄筋コンクリート・鉄骨造（0.5H：告示1399号）

防火性能認定番号

略　語	材料名	厚さ	認定番号	略　語	材料名	厚さ	認定番号
GB-R	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	QM-9828	DR	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)（ソーラトン）	9,12	NM-8599
GB-R	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	12.5	NM-8619	DR(C)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)（ソーラトンカラーシステム）	9,12	NM-8599
GB-NC	不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	NM-0441				
GB-NC(T)	不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	NM-0441	DR(凹凸)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(凹凸ﾀｲﾌﾟ)	12・15	NM-8599
GB-D	不燃化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ジブトーン)	9.5	NM-1864	DR(軒天)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(軒天井用:ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ)	9,12	NM-8599
GB-D	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	12.5	NM-0128	GB-P	吸音石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(ｽｸｴｱﾄｰﾝ・D2ﾌﾗｽ)	9.5	NM-0879
GB-D(和)	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(和天井用)	12.5	NM-0127				
GB-S	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5,12.5	QM-9826		ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(32kg/m³、24kg/m³)	50	NM-3847
GB-S(F)	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ不燃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	12.5	NM-9639		グラスウール(32kg/m3)t=50　ガラスクロス	50	NM-8606
GB-F	強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	12.5～	NM-8615				
GB-R-H	普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	9.5	NM-9645				
ｹｲｶﾙ板	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	6・8	NM-8578				
化粧ｹｲｶﾙ板	化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	6	NM-8579				
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ	不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ		不燃認定品				
ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(木調)	不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ		不燃認定品				
掲示用ｸﾛｽ	掲示用ｸﾛｽ（暗線入り）		準不燃認定品				
難燃シナ化粧合板		9.0	RM-9005				
ｶﾞﾗｽ繊維不織布入石膏ﾎﾞｰﾄﾞ		8.0	NM-2286				

共通事項

・FBをRC面に直張りとする場合は床下地補修材ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材にて全面下地調整を行う。	・壁のGB-R貼りは、継目処理工法する。
・特記以外の木鉄部の塗装はOSとする。	・石膏ﾎﾞｰﾄﾞ等の壁の出隅部分のｺｰﾅｰ保護金物は亜鉛鉄板製穴明きL形金物とする。
・外部に面する壁には、現場発泡硬質ｳﾚﾀﾝﾎｰﾑ(t=25)吹付けとする。	・壁下地は、平面詳細図特記による。
・特記以外の柱、はり、下がり壁の仕上げは壁仕上げによる。	・天井下地は全て軽鉄下地とし、屋内は19型、屋外は25型とする。
・付属物のうち、誘導標識、床点検口、消火器ﾎﾞｯｸｽ等は平面図又は平面詳細図による。	・使用合板は全てＦ☆☆☆☆とする。
・付属物のうち、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ、ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ、ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ、天井点検口などは天井伏図による。	・ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼りに使用する接着剤は全てＦ☆☆☆☆とする。
・特記以外の材料の厚さは認定材料表による。	・ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼は不燃ｸﾛｽとする。
・特記なき限り、幅木の高さは100mmとする。	・鏡、手摺、家具、設備等を取付ける部分の壁下地は、合板t=12とする。
・寸法の記載のないｼｰﾘﾝｸﾞは10×10とする。	
・特記なき限り、見え掛り造作材は集成材とする。	

決裁欄　川口市 -8.8.13 建築課

TITLE　新郷分署改築工事　　仕上表（1）

P. DAYS　PLAN　DRAW　SIGN

SCALE　A3:Non Scale　A1:Non Scale

NO.　A-011

TOTAL　NO

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智

内部仕上表

※仮眠室はスラブ下まで壁下地施工

※無窓居室はスラブ下まで壁下地施工

階	室名	床	巾木	H	壁	天井	H	廻り縁	告示第1436号第四号のへの(5) 採光	排煙	壁	天井	備考
1階	風除室	モルタル金ゴテ下地 床：300角磁器質タイル張	タイル仕上げ	100	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-R t=9.5 + DR t=12	2,600	塩ビ					進入防止柵、カウンター
	エントランス	モルタル金ゴテ下地 床：300角磁器質タイル張	ビニル巾木	100	コンクリート打放し補修 EP-G LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G	LGS下地GB-R t=9.5 + DR t=12	2,600	塩ビ					進入防止柵、展示棚、消火器BOX(埋込)
	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ便所	モルタル金ゴテ下地 ビニル床シート t=2.0	SUS巾木	60	LGS下地 GB-S(F) t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6	LGS下地GB-R t=9.5 + DR t=12	2,500	塩ビ					ベビーチェア、ベビーシート、災害用MHトイレ トイレパック(オストメイト、可動手摺、L型手摺、鏡付き)(設備工事)、小便器（設備工事）
	車 庫	コンクリート金鏝 合成樹脂塗床（厚膜型高耐久性変性エポキシ樹脂系塗床材 +速硬化・高耐候ハイソリッド型防滑塗床材）	床材立ち上げ	100	コンクリート打放し補修 EP-G PS部分：ケイカル板 t 8 EP-G	ウレタン系現場発泡不燃材料t=25 （バックスフレイム（不燃NM-5333）又は同等品以上） 一部：LGS下地 ケイカル板 t=6 EP-G 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 EP-G	4,410	塩ビ					ホース掛、避難ハッチ、吊りフック(1ｔ)、消火器BOX(壁付)、塩ビ製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞH=2000
	土嚢置場	コンクリート金鏝仕上げ			コンクリート打放し補修 ALCt100 吹付ﾀｲﾙ	コンクリート打放し補修	直天井						
	格納庫	コンクリート金鏝 防塵塗装	床材立ち上げ	100	コンクリート打放し補修 EP-G ALCt100 吹付ﾀｲﾙ	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ t50 （ガラスクロス）	直天井						ボンベラック、縦型ボンベラック、タイヤラック、ロープラック、スチール棚
	救急消毒室	コンクリート直押えアスファルト防水（E-2) 押えコンクリート敷モルタル 50角磁器質タイル			モルタル下地 100角陶器質タイル	LGS下地 ケイカル板 t=6 EP-G	2,500	塩ビ					汚物槽シンク(設備工事)、ジェットタオル(電気工事)、汚物槽シンクW1200(設備工事)、薬品保管庫、ﾗｲﾆﾝｸﾞ天板:人造大理石 シャワー水栓（設備工事）、SUSパイプφ38(耐荷重100ｋｇ)、床SUS見切、洗濯パン740×640、ホワイトボードW1200×H600
	洗濯室	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 合成樹脂塗床	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6 コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					洗濯機(設備工事)、乾燥機(設備工事)、消火器BOX 設備基礎
	出動準備室	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 合成樹脂塗床	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5＋ケイカル板 t=6 EP-G 階段立上り部：コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					防火衣ロッカー、進入防止柵、冷蔵庫(備品) SUSﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ｺﾞﾑﾀｲﾔ入)
	通 路	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 合成樹脂塗床	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					手洗い、SUSノンスリップ(ｺﾞﾑﾀｲﾔ入) 下足入れ
	乾燥室	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 合成樹脂塗床	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6 コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					物干し用SUSパイプφ38(2段)
	前室	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F) t=12.5＋ケイカル板 t=6 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,600	塩ビ					
	脱衣室	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 耐水合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F) t=12.5＋ケイカル板 t=6 EP-G 一部コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,400	塩ビ					洗濯パン800×640、上り框(桧)100×50、UB1612(水栓・照明・棚・鏡・タオル掛け付)(換気：設備工事)、 シャワーユニット0812(水栓・照明・棚・鏡付)（換気：設備工事）、洗面台(TOTO：MLUAｶｳﾝﾀｰ同等品)、脱衣棚 タオル掛け 4ヶ所(TOTO YT51R 又は同等品)
	ポンプ室	コンクリート金鏝仕上げ			コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修	直天井						設備基礎
	プロパン庫	コンクリート金鏝仕上げ			コンクリート打放し補修	コンクリート打放し補修	直天井						
中2階	資機材庫（1）	ALC ｔ100 モルタル下地 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	コンクリート打放し補修 EP-G LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	1,400	塩ビ					収納棚、消火器BOX
	資機材庫（2）	ALC ｔ100 モルタル下地 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	コンクリート打放し補修 EP-G	ウレタン系現場発泡不燃材料t=25 （バックスフレイム（不燃NM-5333）又は同等品以上） 梁型：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 EP-G	直天井						リングアンカー（1ヶ所）、消火器BOX
2階	ＥＶホール	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
	廊下（A）	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	コンクリート打放し補修 EP-G LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
	仮眠室（男子）	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス GW24ｋ(ｱ)50充填 コンクリート打放し補修 ビニールクロス	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ	(一部)無窓	(一部)無窓	(下地・仕上げ)不燃	不燃	Stカーテン BOX、カーテンレール、カーテン（備品） 仮眠ベッド、姿見360×1100(TOTO YMK51K又は同等品)、ロッカー(備品)
	仮眠室（女子）	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス GW24ｋ(ｱ)50充填	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ	無窓	無窓	(下地・仕上げ)不燃	不燃	Stカーテン BOX、カーテンレール、カーテン(備品) 仮眠ベッド、姿見360×1100(TOTO YMK51K又は同等品)、ロッカー(備品)
	厨 房	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6 コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ	無窓	無窓	(下地・仕上げ)不燃	不燃	厨房設備（設備工事）、作業台（設備工事）、手洗い（設備工事）
	食品庫	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス コンクリート打放し補修 ビニールクロス	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					収納棚（設備工事）
	食 堂	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス 腰壁：木調ビニールクロス H=1060	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ	無窓	無窓	(下地・仕上げ)不燃	不燃	カウンター、手洗い（設備工事） 自動販売機(備品)、冷蔵庫(備品)
	洗面所	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6 コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					洗面台(TOTO：MLUAｶｳﾝﾀｰ同等品)、個人用小物入れ、化粧鏡360×1100(TOTO YMK51K又は同等品)、洗濯パン800×600
	物置	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-D t=12.5	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
	男子便所	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	SUS巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					トイレブース、洗面台(TOTO：MLUAｶｳﾝﾀｰ同等品)、化粧鏡360×1100(TOTO YMK51K又は同等品)、汚垂石D＝600 紙巻器（設備工事）
	リネン庫(A)	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-D t=12.5	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					可動棚（ポリ合板）4段
	リネン庫(B)	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-D t=12.5	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					可動棚（ポリ合板）4段
	廊下（B）（女性ｴﾘｱ）	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス コンクリート打放し補修 ビニールクロス	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
	女子便所	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F) t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス コンクリート打放し補修 ビニールクロス	LGS下地GB-R t=9.5 ビニールクロス	2,500	塩ビ					紙巻器（設備工事）
	洗面・洗濯室	コンクリート金鏝 ビニル床シート t=2.0 置床(パーチクルボードｔ＝20)の上耐水合板t=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F) t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス	LGS下地GB-R t=9.5 ビニールクロス	2,500	塩ビ					洗面台(TOTO：MLUAｶｳﾝﾀｰ同等品)、収納棚、下駄箱W＝720(永大産業 スキムS又は同等品）、上り框(桧)100×50、 洗濯パン800×640
	脱衣所	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 耐水合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F) t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス	LGS下地GB-R t=9.5 ビニールクロス	2,500	塩ビ					脱衣棚1段(タモ集成材）、タオル掛け 1ヶ所(TOTO YT51R 又は同等品) UB1612(水栓・照明・棚・鏡・タオル掛け付）（換気：設備工事）
	物干場	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地 ケイカル板 t=6 EP-G	2,500	塩ビ					ブラインドBOX、横型ブラインド、天吊り物干金物(川口技研：ZA-0645同等品)
	倉庫	コンクリート金鏝 セルフレベリング材 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-D t=12.5	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					木製天棚D400
3階	ＥＶホール	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
	事務室	OAフロアー(5000N) ビニル床タイル t=5.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス 一部コンクリート打放し補修 ビニールクロス	LGS下地GB-R t=9.5 + DR t=12	2,500	塩ビ					ブラインドBOX、横型ブラインド、受付カウンター、個人用ワゴン収納棚 ホワイトボードW1800×H1200、ピクチャーレール、可動書架
	給湯室	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-NC t=9.5+GB-S(F) t=12.5 ビニールクロス	LGS下地GB-R t=9.5 + DR t=12	2,500	塩ビ					流し台W＝1500(A-70参照)
	講 堂	OAフロアー(5000N) ビニル床タイル モルタル金鏝 ゴムマット500×500 t=9.0(ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｽﾍﾟｰｽ)	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 ビニールクロス コンクリート打放し補修 ビニールクロス	LGS下地GB-R t=9.5 + DR t=12	2,500	塩ビ					ブラインドBOX、横型ブラインド、吊カーテンレール ホワイトボードW1800×H1200、ピクチャーレール
	倉 庫	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+GB-NC t=9.5 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
	男子便所	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 耐水合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	SUS巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					トイレブース、洗面台(TOTO：MLUAｶｳﾝﾀｰ同等品)、化粧鏡360×1100(TOTO YMK51K又は同等品) 紙巻器（設備工事）
	女子便所	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 耐水合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	SUS巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋化粧ケイカル板 t=6	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					トイレブース、洗面台(TOTO：MLUAｶｳﾝﾀｰ同等品)、化粧鏡360×1100(TOTO YMK51K又は同等品) 紙巻器（設備工事）
	ＳＫ	置床(パーチクルボードｔ＝20）の上 耐水合板ｔ=12 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-S(F)t=12.5＋ケイカル板 t=6 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G	LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					
共通	階 段（A）	コンクリート金鏝 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G	コンクリート打放し補修 EP-G LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					ビニル手摺φ38 SUSノンスリップ(ｺﾞﾑﾀｲﾔ入)
	階 段（B）	コンクリート金鏝 ビニル床シート t=2.0	ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=12.5+9.5 EP-G コンクリート打放し補修 EP-G	コンクリート打放し補修 EP-G LGS下地GB-D t=9.5	2,500	塩ビ					アルミ製耐候性樹脂被覆38φ、ターンパイプ SUSノンスリップ(ｺﾞﾑﾀｲﾔ入)

決裁欄

川口市 -8.8.13 建築課

TITLE 新郷分署改築工事

P. DAYS

PLAN DRAW SIGN

仕上表（2）

SCALE A3:Non Scale A1:Non Scale

NO. A-012

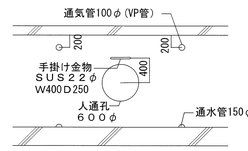
TOTAL NO

一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智

凡例

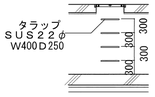
- 連通管150φ×2　1FL-1,500　1FL-900
- 上部：通気管　100φ（ＶＰ管）
  下部：通水管　150φ（ＶＰ管半割）
- 人通孔　600φ　（人通口上部両側にステンレスタラップ）
- 上部床下点検口
  密閉型(防水・防臭）600角
  タラップ SUS 22φ打込み W=400 5段
- 鋳鉄製(防水・防臭型)マンホール600φ
  タラップ SUS 22φ打込み W=400 5段
- 特記なき釜場：500×500×H500
- 水勾配
- P　ピット通気口 100φ（地上部エルボ返し、防虫網付き）

人通口・通気管・通水管



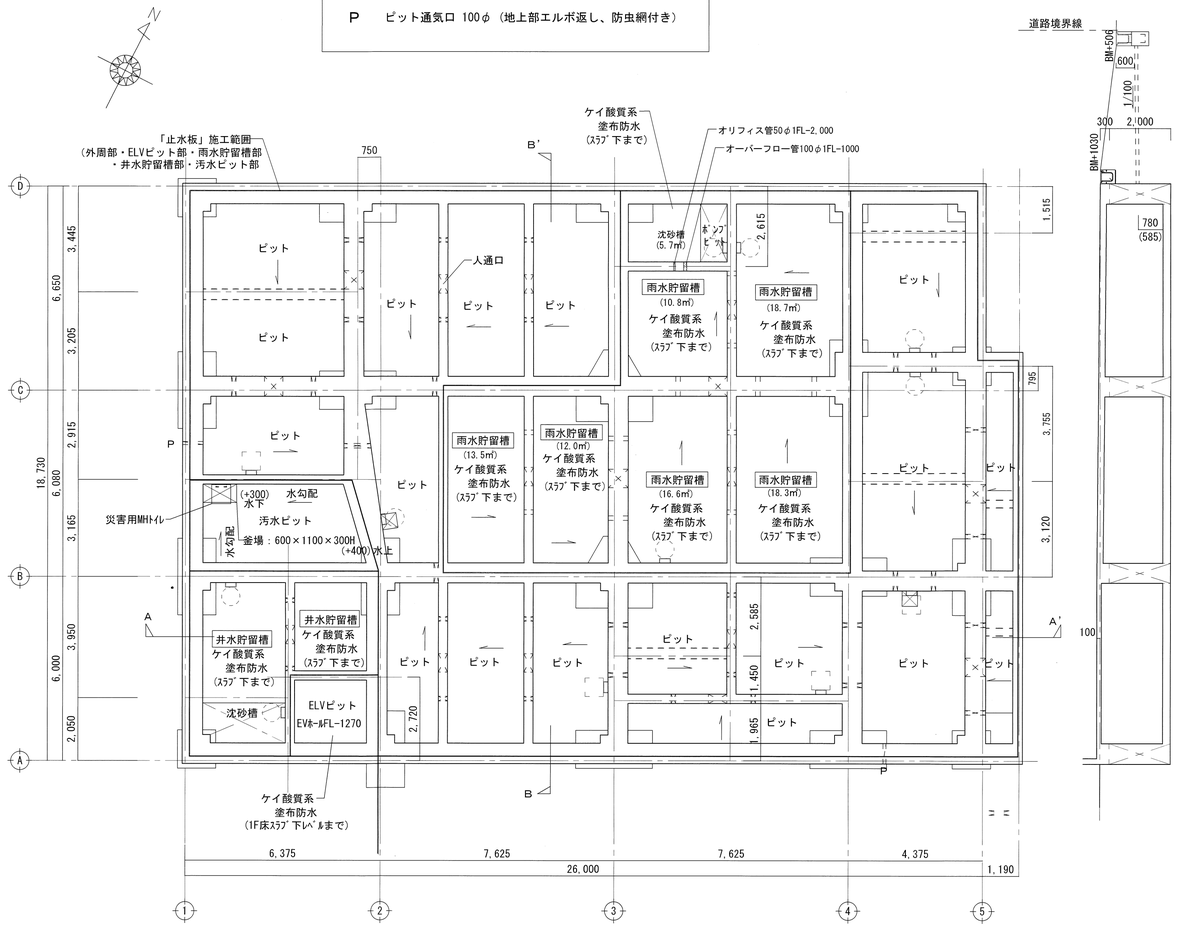
※特記なき限り人通孔は上図による

タラップ

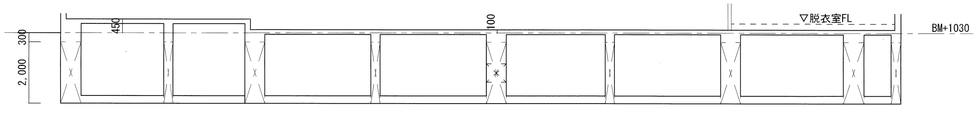


※設置高さについて現場にて監督員に確認すること。

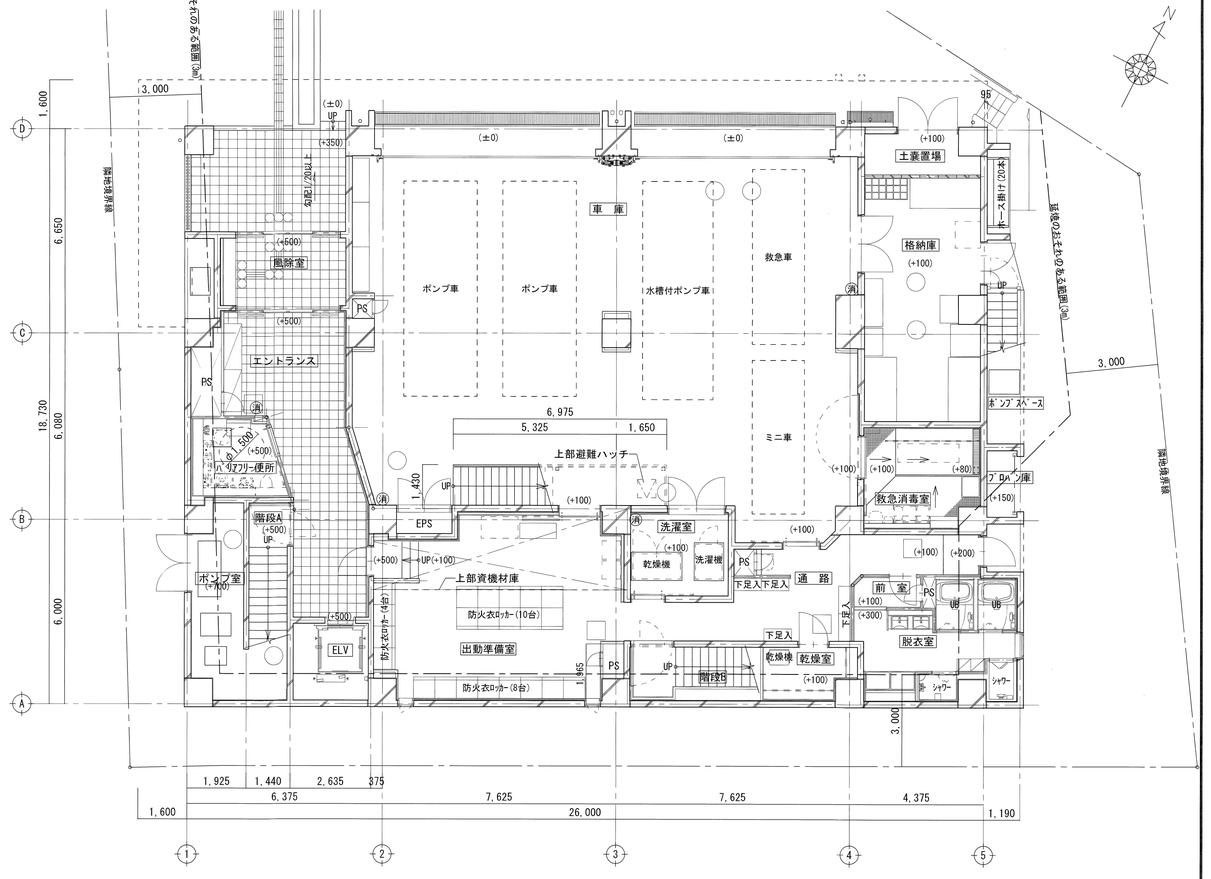
- 床下点検口φ600
- 床下点検口600×600



ピット平面図　S=1/100



Ａ－Ａ' 断面図



1階平面図　S=1/100　※基準法１階

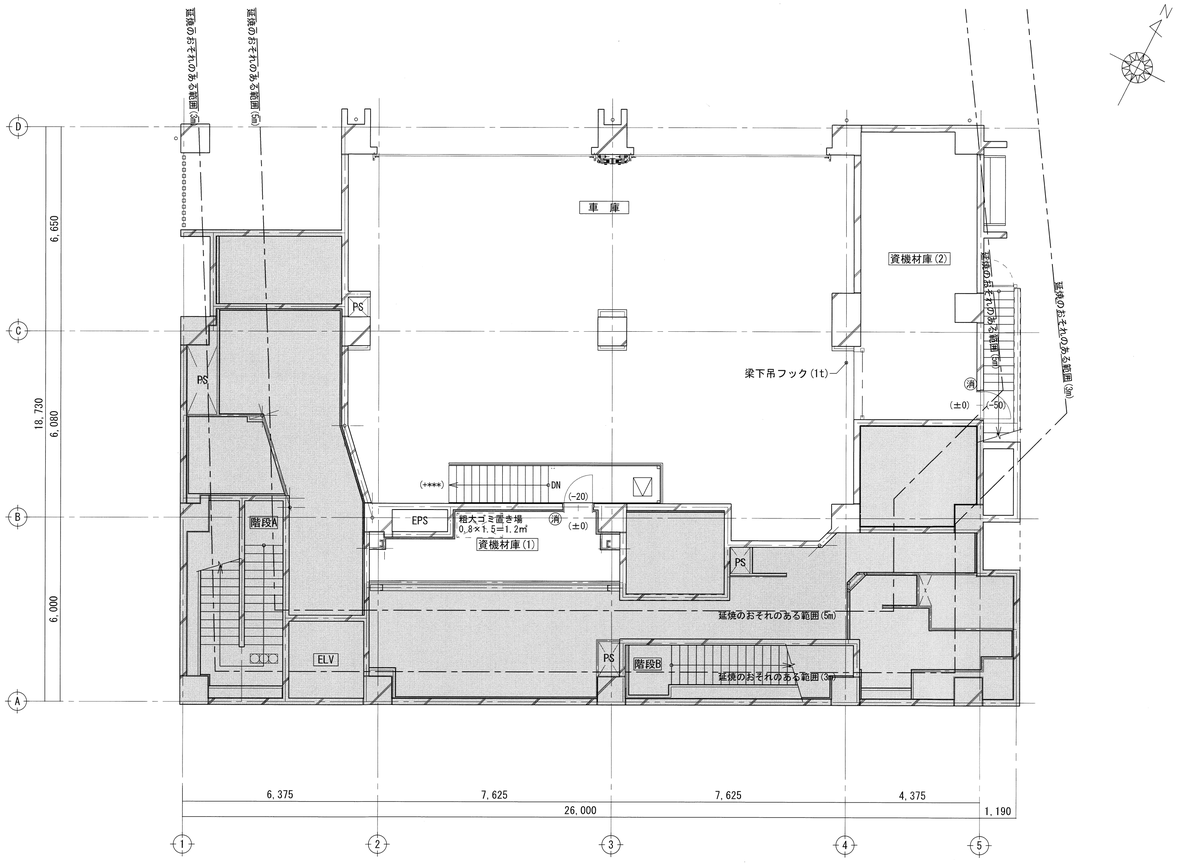
±0＝BM+1030

※雨水貯留量＝(10.80+18.70+18.30+16.60+12.00+13.50)×0.585
＝52.59㎥

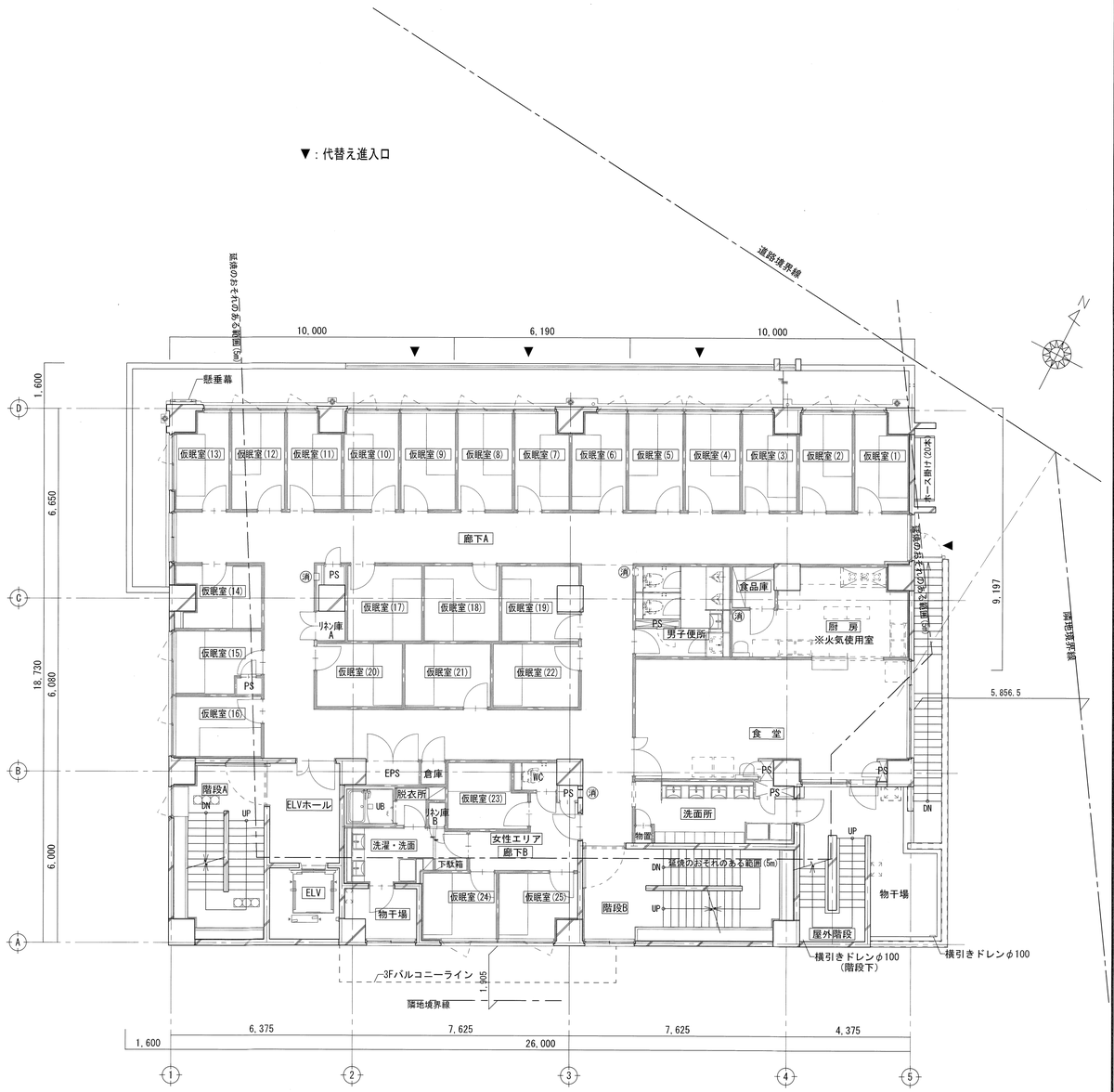
決裁欄

川口市
-8.8.13
建築課

TITLE	新郷分署改築工事			各階平面図（1）	SCALE A3:1/200 A1:1/100
P. DAYS		PLAN	DRAW	SIGN	NO. A-013
				一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智	TOTAL NO



M2階平面図　S=1/100　※基準法２階

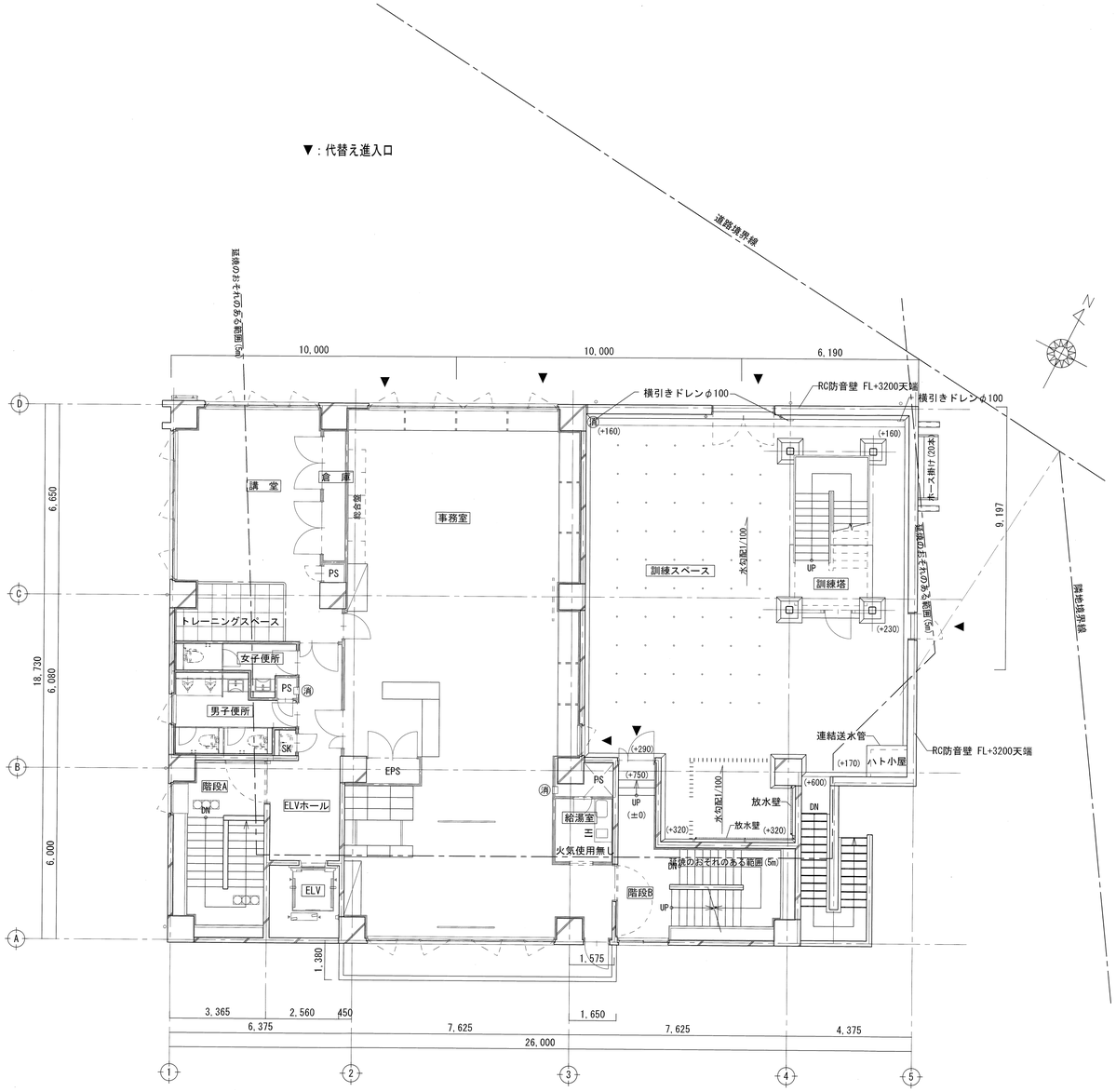


2階平面図　S=1/100　※基準法３階

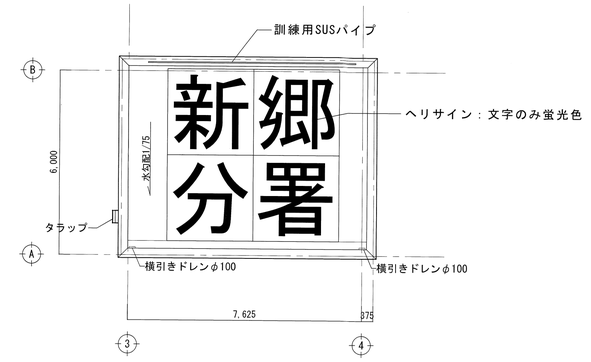
決裁欄

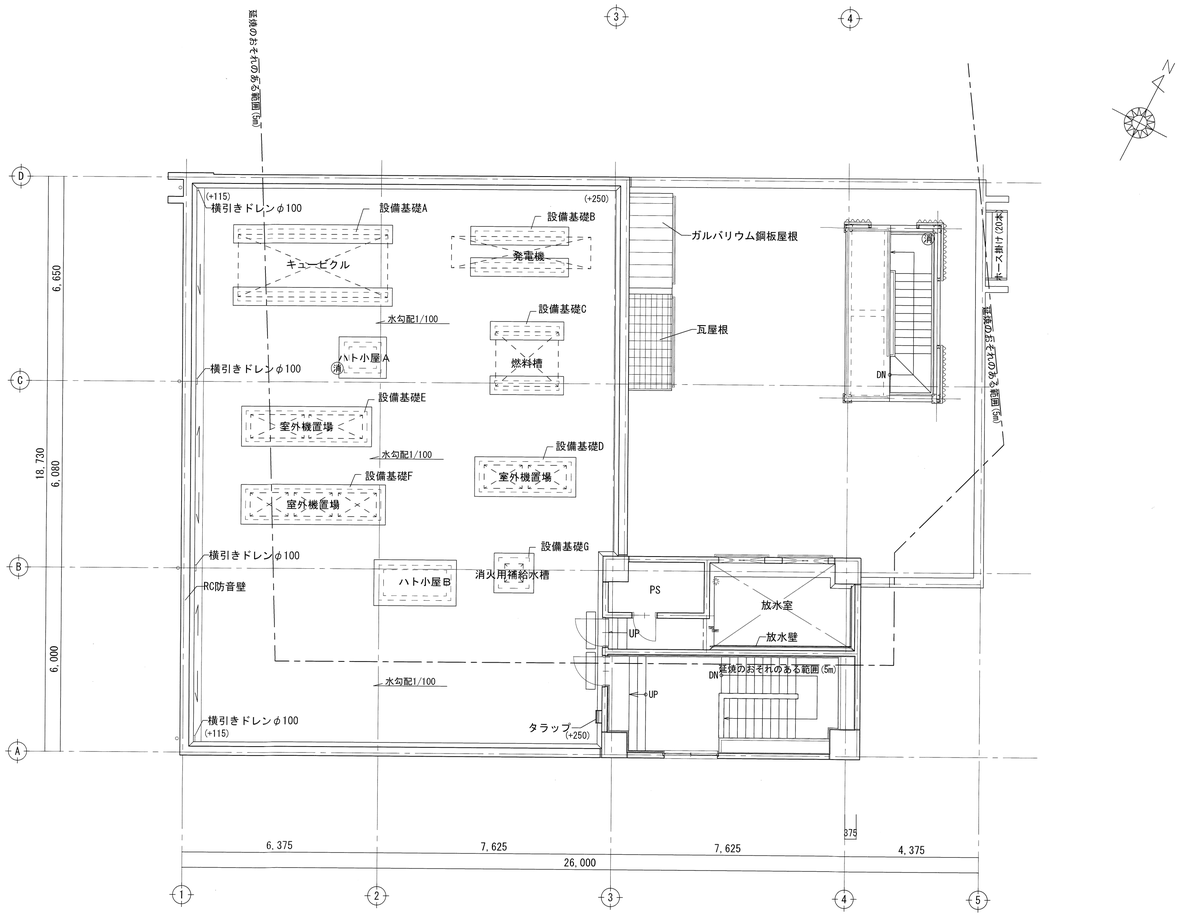
川口市 -8.8.13 建築課

TITLE	新郷分署改築工事				各階平面図（2）	SCALE A3:1/200 A1:1/100	NO. A-014
P. DAYS		PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号		TOTAL NO
					有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智		



3階平面図　S=1/100　※基準法４階

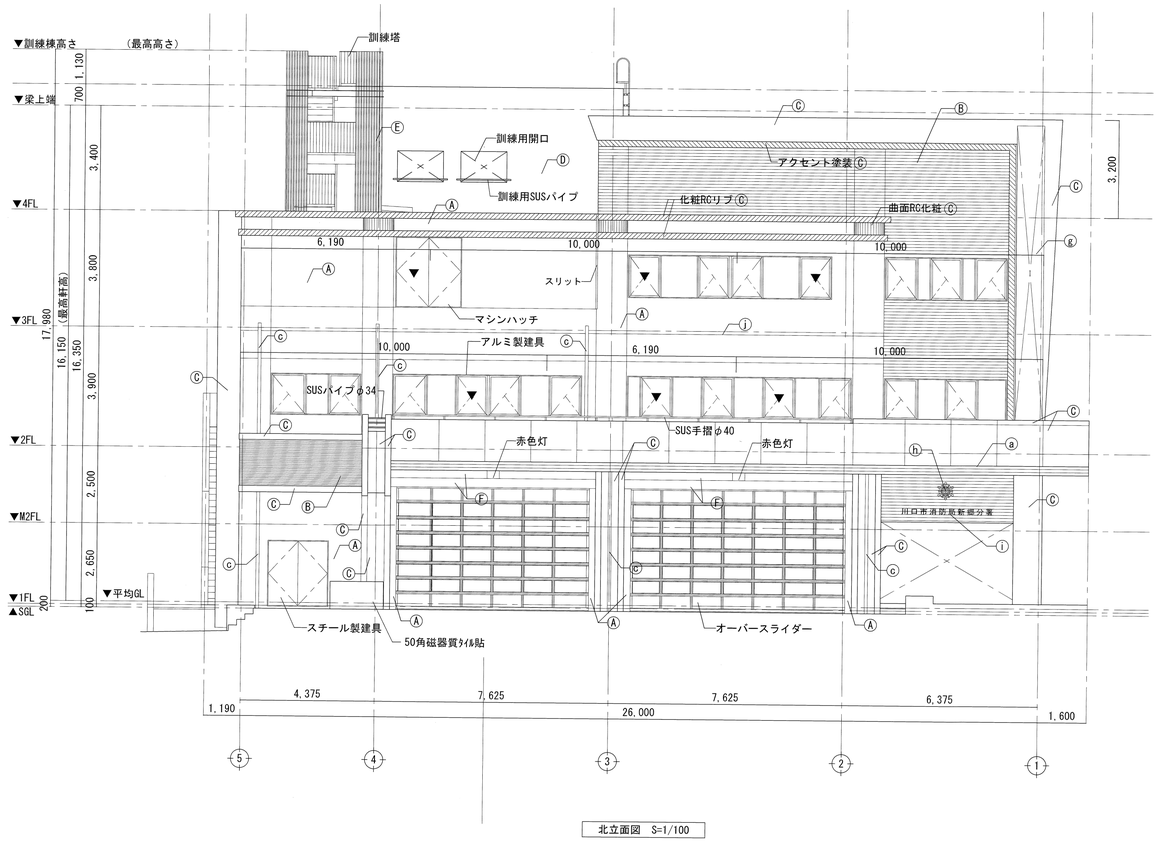




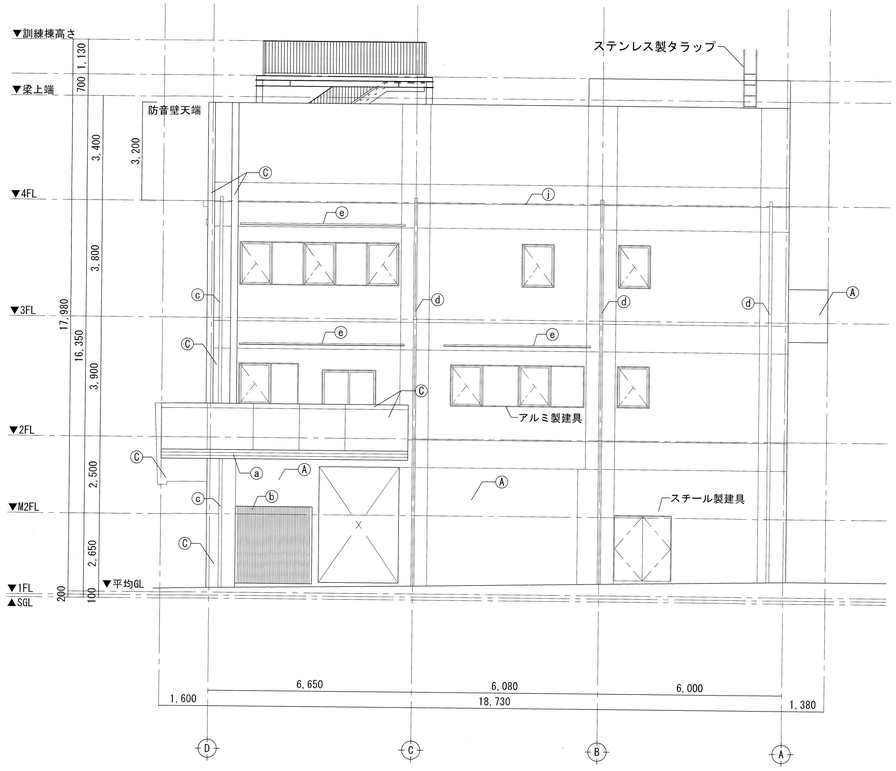
4階平面図　S=1/100　※基準法５階

決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事	各階平面図（3）	SCALE A3:1/200 A1:1/100	NO. A-015
		P. DAYS	PLAN / DRAW / SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　佐藤　啓智		TOTAL NO

▼：代替え進入口



北立面図　S=1/100



西立面図　S=1/100

凡　例

記号	仕　上	記号	仕　上	記号	仕　上
Ⓐ	コンクリート打放しの上、複層塗材ＲＥ	ⓐ	アルミルーバー　30×50（指定色塗装：木調）	ⓖ	懸垂幕　下部手動式
Ⓑ	コンクリート化粧型枠打放し補修の上、DP塗装	ⓑ	アルミルーバー　50×100（指定色塗装：木調）	ⓗ	徽章：鋳鉄製焼付塗装バックライト付 ※取付位置は現地確認
Ⓒ	コンクリート打放しの上、DP塗装	ⓒ	竪樋：ＳＵＳ(カラー)φ100　支持金物SUS	ⓘ	SUS製館名文字
Ⓓ	コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア塗装	ⓓ	竪樋：硬質塩ビ(カラー)φ100　支持金物SUS	ⓙ	打継ぎ目地
Ⓔ	有孔折板ルーバー	ⓔ	アルミ製庇　D=600		
Ⓕ	アルミパネルt2.0(指定色)	ⓕ	ホースリフター		

決裁欄
川口市 -8.8.13 建築課

TITLE 新郷分署改築工事

P. DAYS

PLAN	DRAW	SIGN

立面図（1）

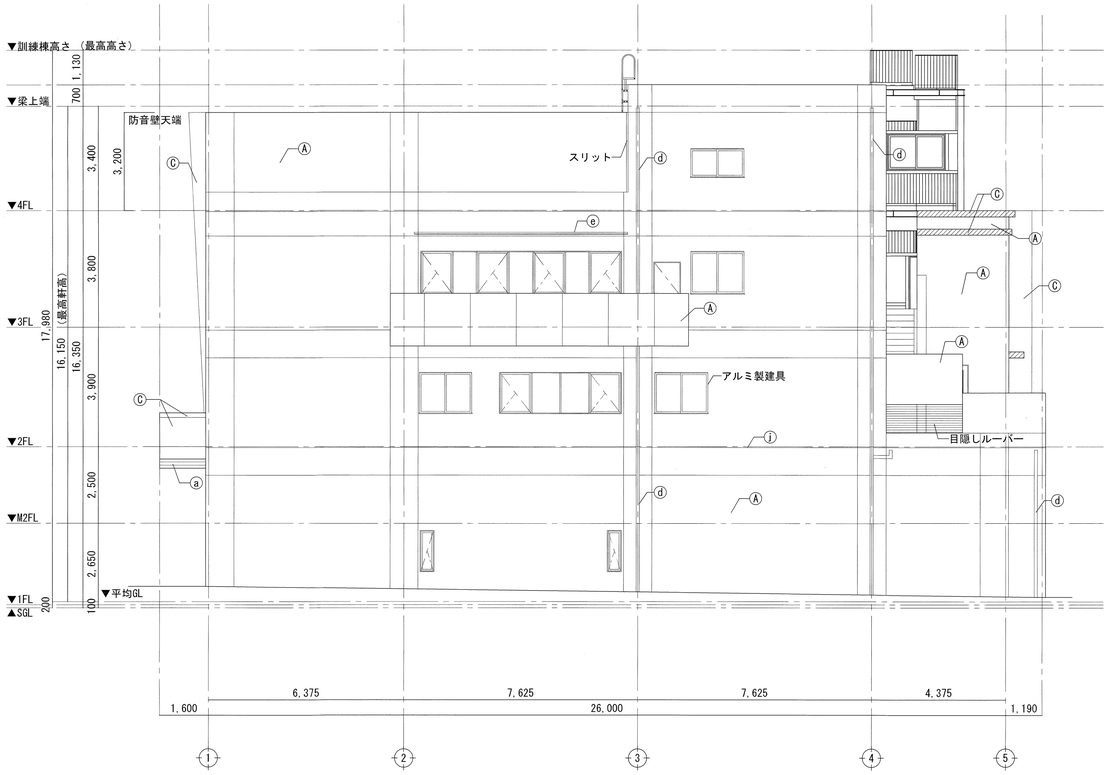
SCALE A3:1/200 A1:1/100

NO. A-016

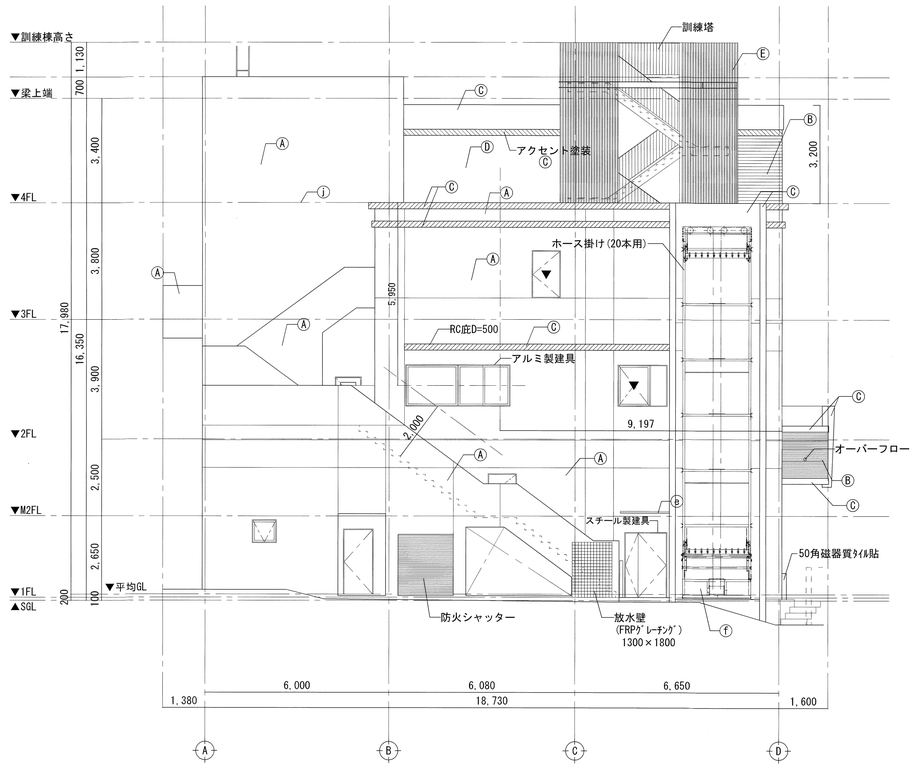
一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号
有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智

TOTAL NO

▼：代替え進入口



南立面図　S=1/100



東立面図　S=1/100

凡例

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
Ⓐ	コンクリート打放しの上、複層塗材ＲＥ	ⓐ	アルミルーバー　30×50（指定色塗装：木調）	ⓖ	懸垂幕　下部手動式
Ⓑ	コンクリート化粧型枠打放し補修の上、DP塗装	ⓑ	アルミルーバー　50×100（指定色塗装：木調）	ⓗ	徽章：鋳鉄製焼付塗装バックライト付 ※取付位置は現地確認
Ⓒ	コンクリート打放しの上、DP塗装	ⓒ	竪樋：ＳＵＳ（カラー）φ100　支持金物SUS	ⓘ	SUS製館名文字
Ⓓ	コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア塗装	ⓓ	竪樋：硬質塩ビ（カラー）φ100　支持金物SUS	ⓙ	打継ぎ目地
Ⓔ	有孔折板ルーバー	ⓔ	アルミ製庇　D=600		
Ⓕ	アルミパネルt2.0（指定色）	ⓕ	ホースリフター		

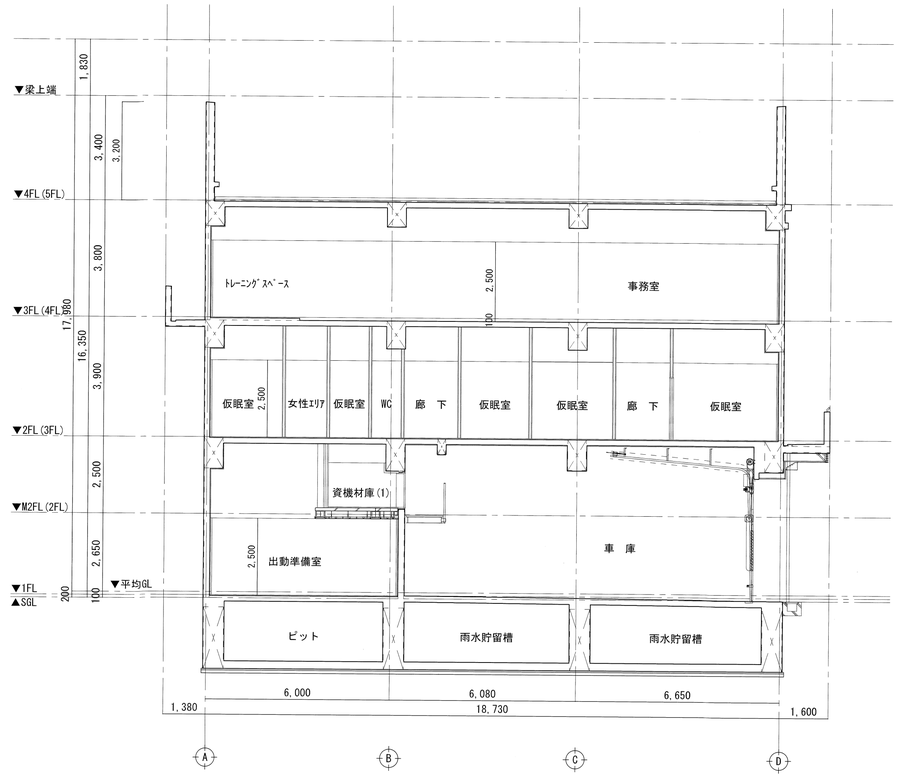
決裁欄

川口市 -8.8.13 建築課

TITLE	新郷分署改築工事				立面図（2）	SCALE A3:1/200 A1:1/100	NO. A-017
P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN		一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号		TOTAL NO
					有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智		



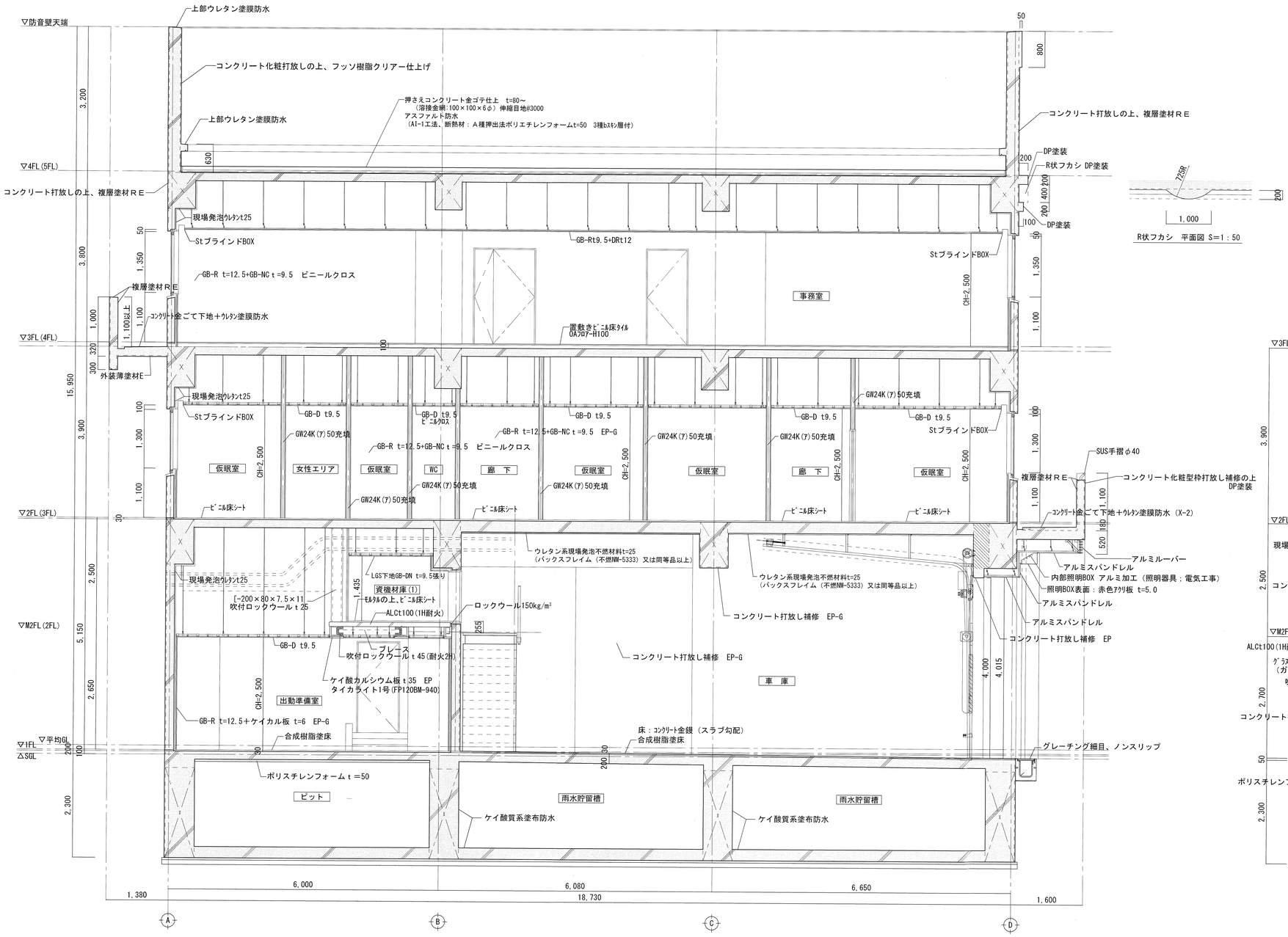
断面図１ S=1/100

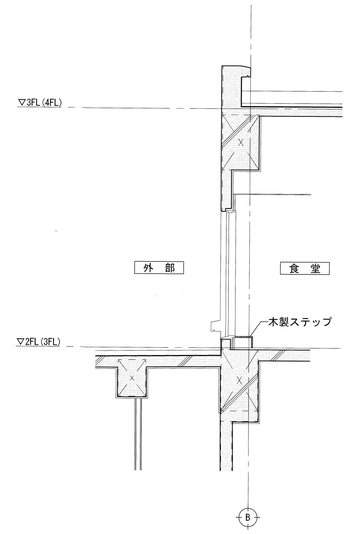


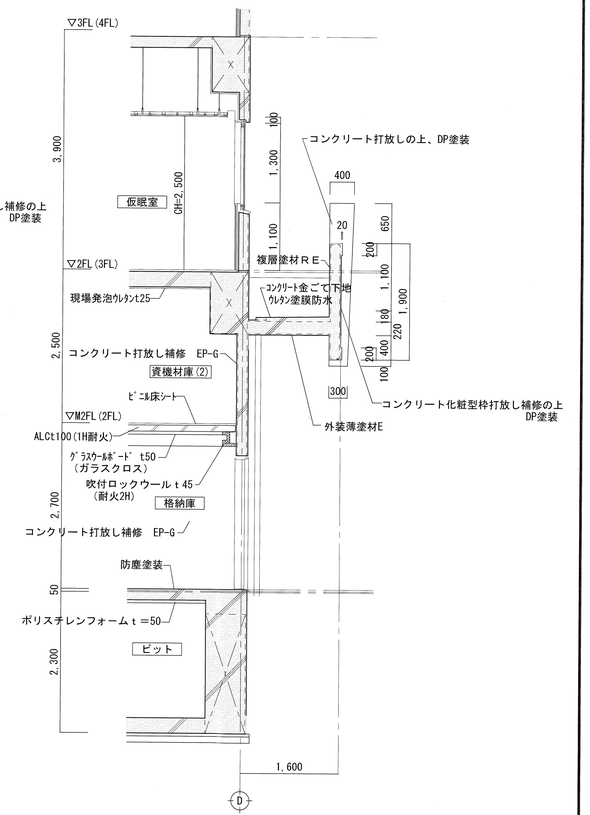
断面図２ S=1/100

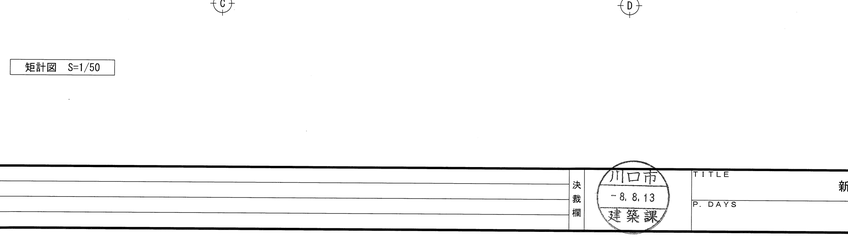
※（ ）内は基準法の階数を示す。

決裁欄	川口市 −8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事			断面図	SCALE A3:1/200 A1:1/100 NO. A-018
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所 (8) 1951号一級建築士 (大臣) 161139号 有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智	TOTAL NO



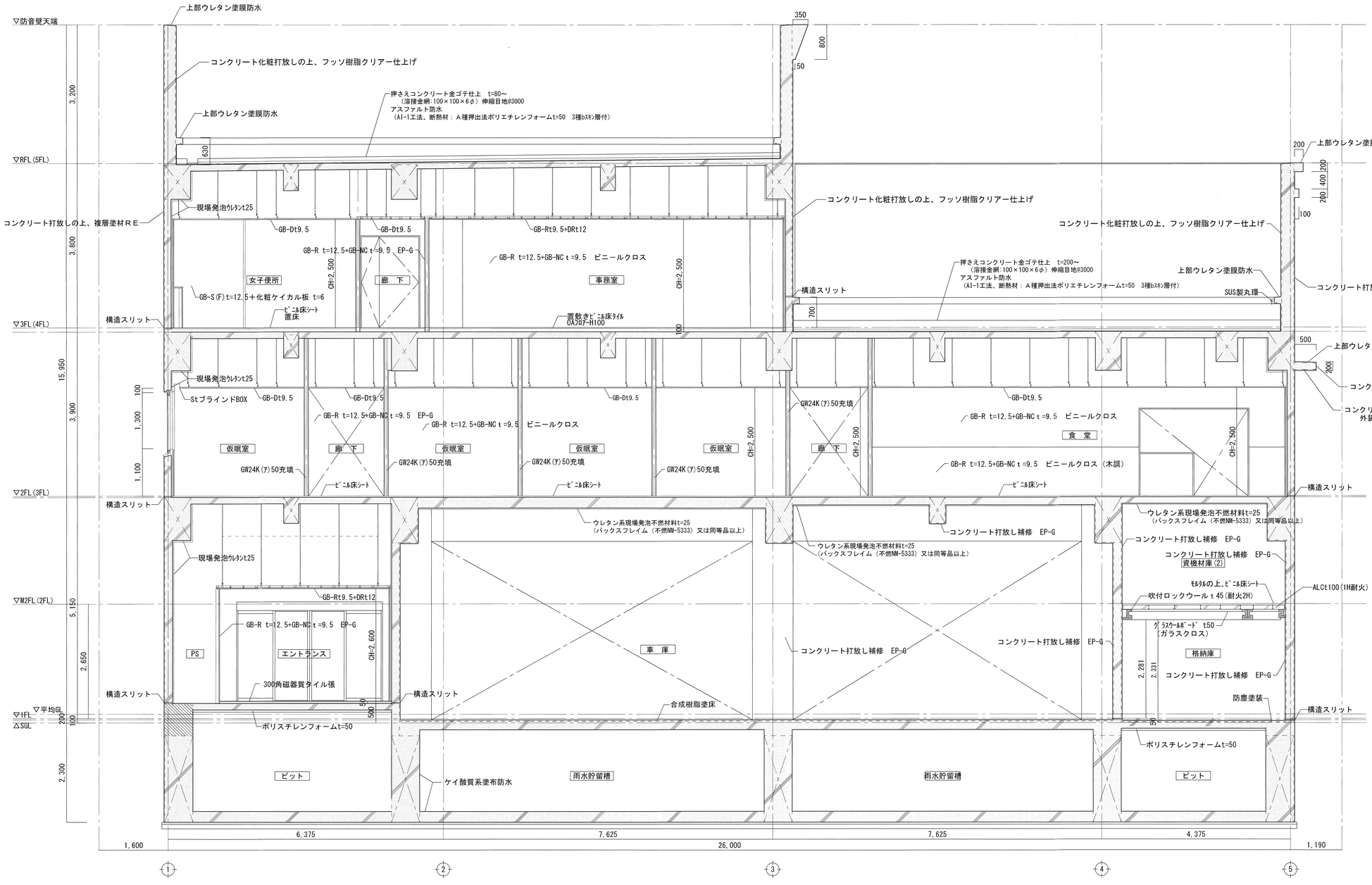


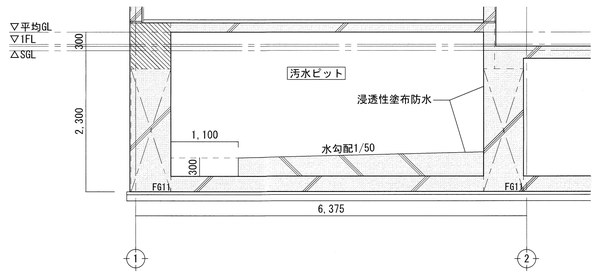




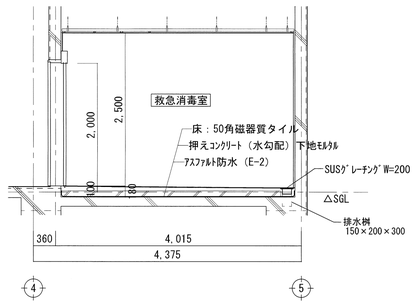
矩計図 S=1/50

決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事			矩計図（1）	SCALE A3:1/100 A1:1/50
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智	NO. A-019 TOTAL NO

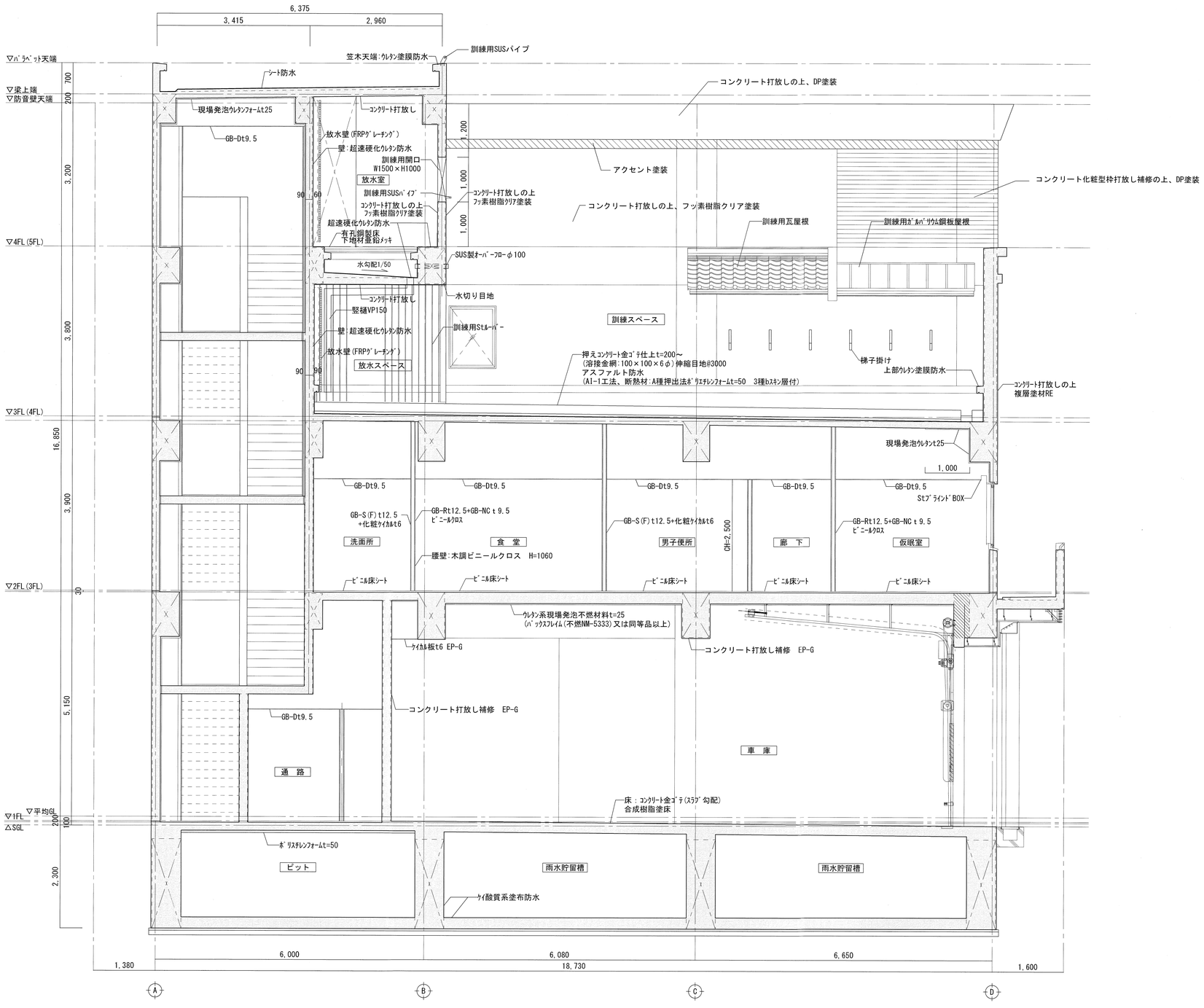




矩計図 S=1/50

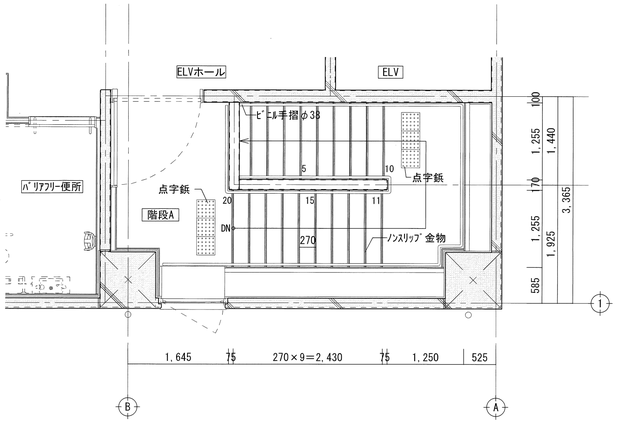


決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事		矩計図 (2)	SCALE A3:1/100 A1:1/50 / NO. A-020
		P. DAYS	PLAN / DRAW / SIGN		一級建築士事務所 (8) 1951号 一級建築士 (大臣) 161139号 有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智	TOTAL NO

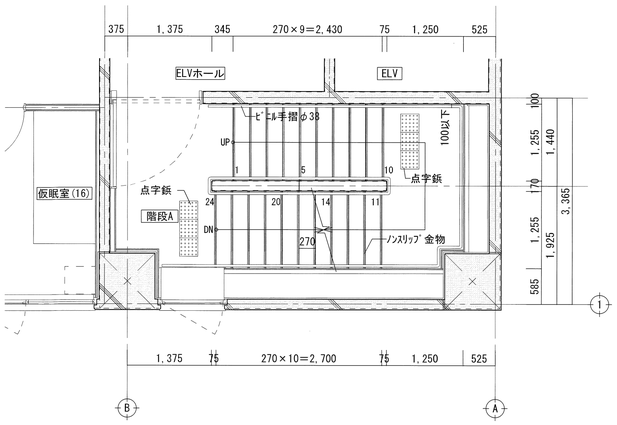


矩計図　S=1/50

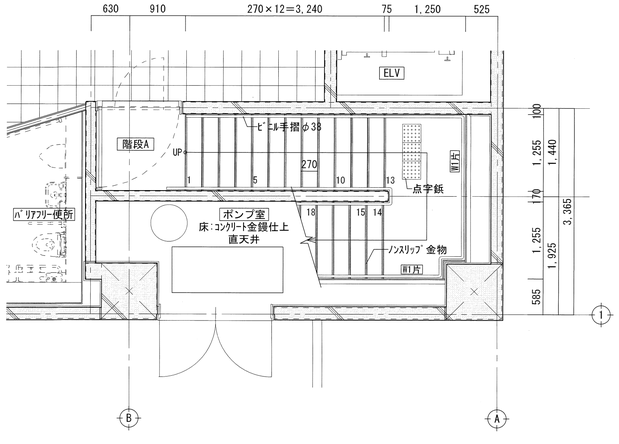
決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事		矩計図（3）	SCALE A3:1/100 A1:1/50
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	NO. A-021
					一級建築士事務所 (8) 1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　　佐藤　啓智	TOTAL NO



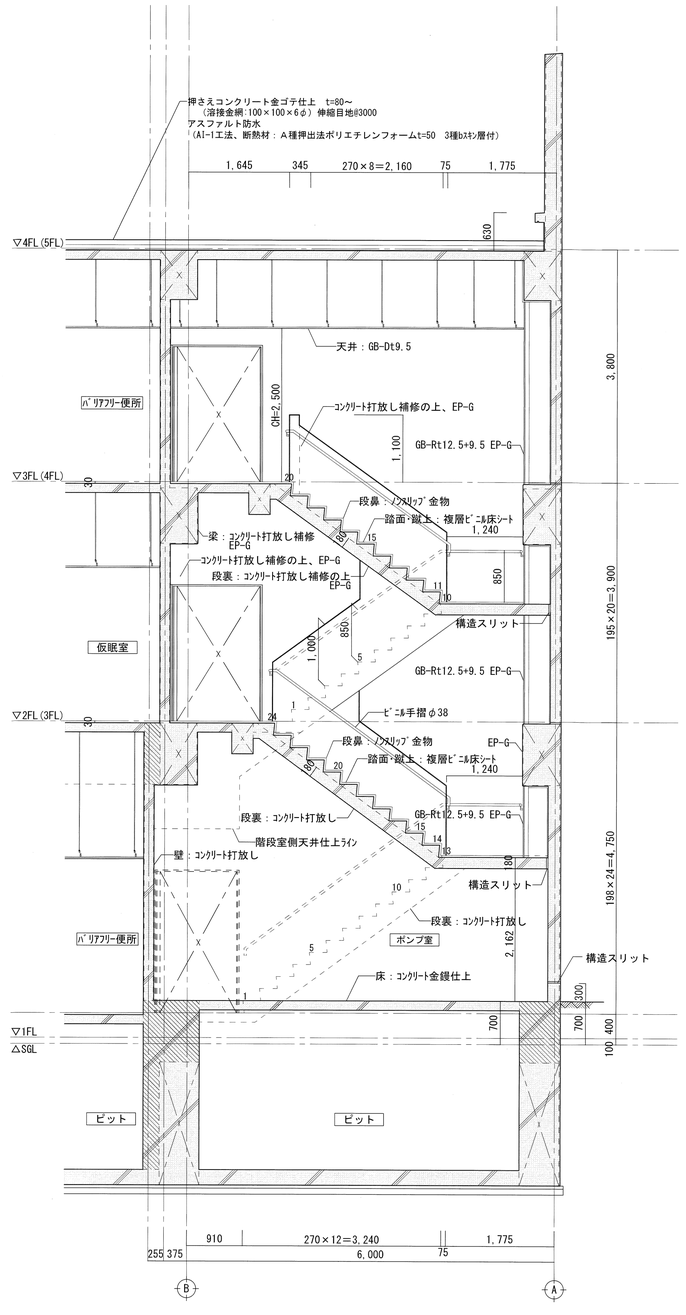
3階平面詳細図　S=1/50



2階平面詳細図　S=1/50

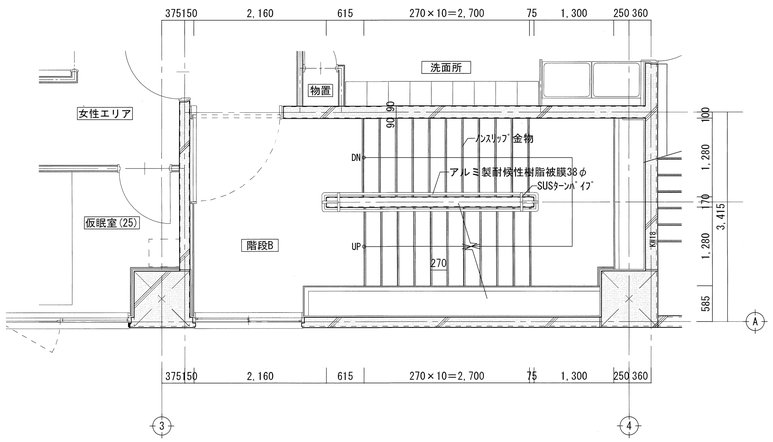


1階平面詳細図　S=1/50

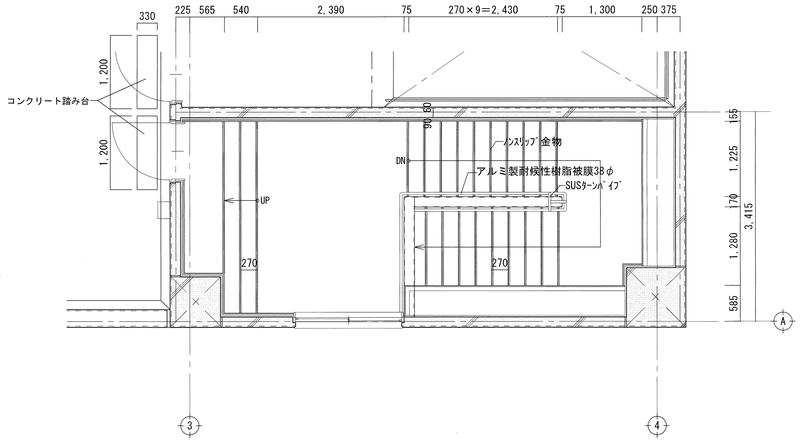


階段A断面図　S=1/50

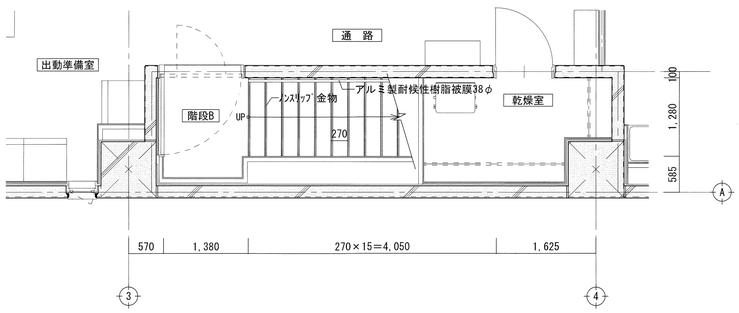
決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事			階段A詳細図	SCALE A3:1/100 A1:1/50 NO. A-022
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　佐藤　啓智	TOTAL NO



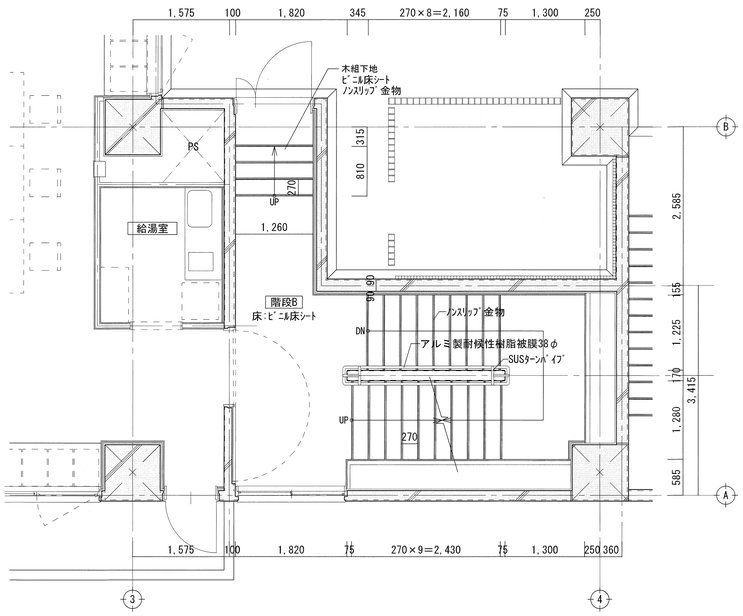
2階平面詳細図 S=1/50



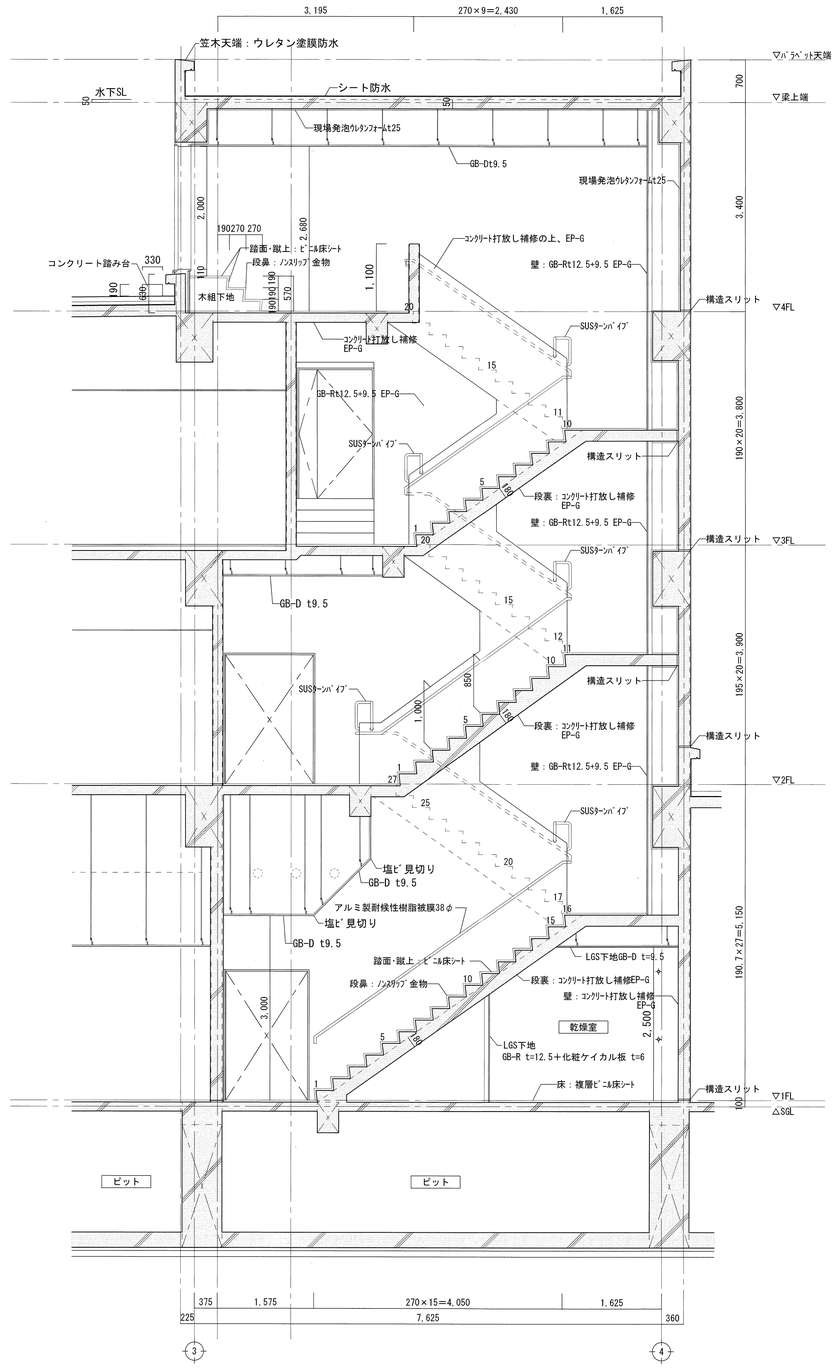
4階平面詳細図 S=1/50



1階平面詳細図 S=1/50

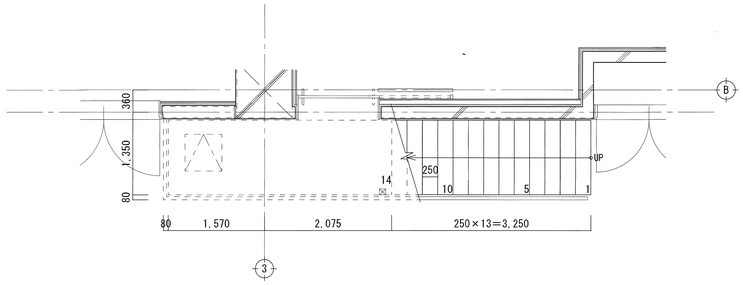


3階平面詳細図 S=1/50

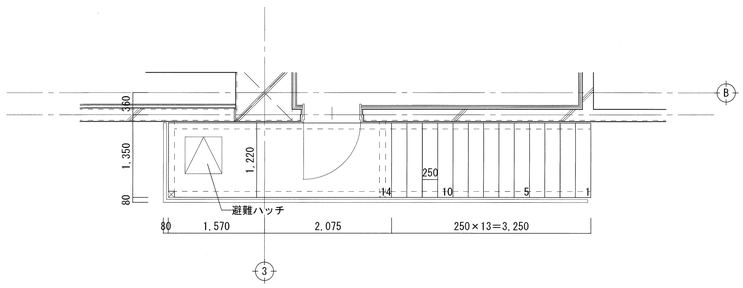


階段B断面図 S=1/50

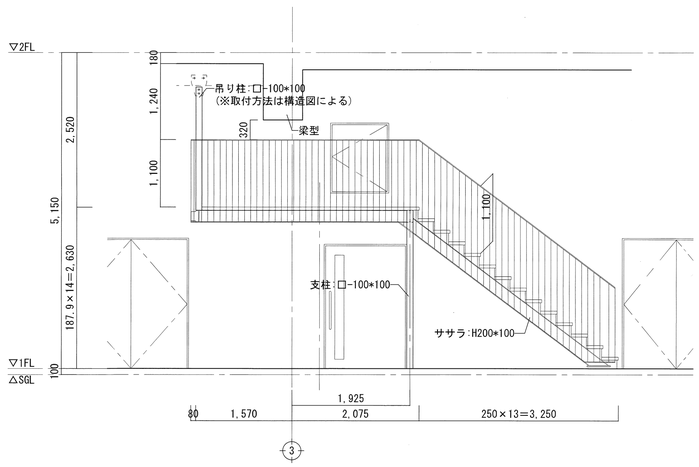
決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事			階段B詳細図	SCALE A3:1/100 A1:1/50
		P. DAYS	PLAN	DRAW	SIGN	一級建築士事務所 (8) 1951号一級建築士 (大臣) 161139号	NO. A-023
						有限会社 サトウ設計 佐藤 啓智	TOTAL NO



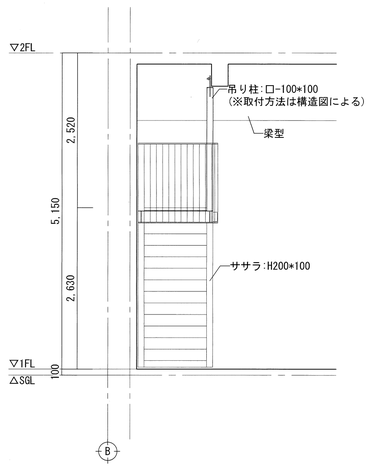
1階平面図　S=1/50



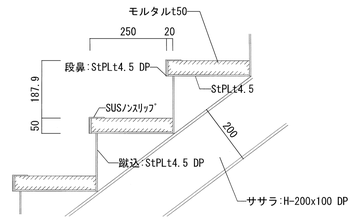
2階平面図　S=1/50



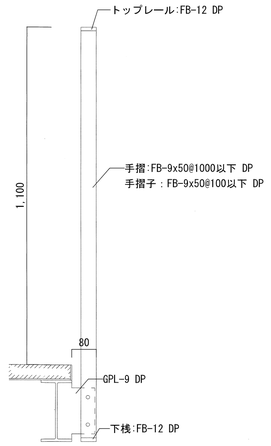
立面図１　S=1/50



立面図２　S=1/50



踏面詳細図　S=1/10



手摺詳細図　S=1/10

※特記なき限り鉄部はDP塗装とする。

決裁欄	川口市 -8.8.13 建築課	TITLE	新郷分署改築工事	鉄骨階段詳細図	SCALE A3:1/100 A1:1/50	NO.	A-024
		P. DAYS	PLAN / DRAW / SIGN	一級建築士事務所（8）1951号一級建築士（大臣）161139号 有限会社　サトウ設計　佐藤　啓智		TOTAL	NO